

コロナ禍における児童生徒の口腔内変化及び虐待の調査について（報告）

当委員会では、令和元年12月に初めて報告された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって子供たちを取り巻く環境も大きく変化しました。この環境の変化により子供たちの心身及び口腔内の健康状態や生活環境などがどのように変化したのか検証するためにアンケートによる調査を実施し報告書をまとめました。2020年～2022年の中学生の個票の詳しい分析につきましては、時間の関係で今後の研究課題とさせていただきます。

また、1の調査と2の調査につきましては、分析グループが別の為、様式が統一できていないことをご容赦ください。

下記の2つのグループに分け、調査を行った。

1. 歯科検診個票調査グループ
2. 個票提出の同意を得られた学校とその学校歯科医に対しアンケート調査を行ったグループ

【歯科検診個票調査グループ】

小中学校を対象とした歯科健診結果の概要

1. 調査目的および調査対象

令和元年12月に初めて報告された新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって、激しい社会環境の変化が生じている。この変化が子供たちの心身および口腔内の健康状態に与える影響は少なくないことが予想される。しかしながら、この課題の検討は十分ではない。

本調査は、児童生徒の学校歯科検診結果を用いて、COVID-19感染拡大前後における小児の口腔内の健康状態を比較検討することを目的とした。調査対象は、A地域内、B地域内、その他の地区における小学校および中学校の児童生徒とした。

2. 調査方法

調査対象の小学校および中学校から児童生徒健康診断票（歯・口）を2022年に収集し、データ分析をおこなった。地域を3カテゴリ（A、B、その他）に分け、2014年度、2017年度を起点（小学1年生）としたグループ（以降、2014年グループ、2017年グループとして各々分析した。

2022年時点での登録となるため、各グループに起点が異なる調査対象者が含まれている。「個票のデータが1年分すべてない」あるいは「個票データに一部入力があるものの、第一大臼歯に関するデータがない、または不備がある」者を除外して解析をおこなった。

3. 調査結果

(1) 対象【表 1 および 2】

収集されたデータ数および解析対象者数の内訳を表 1、表 2 に示す。小学 1 年生の解析対象者数は、A 地域は 10,057 名 (2014 年グループ)、11,872 名 (2017 年グループ)、B 地域では 4,013 名 (2014 年グループ)、5,188 名 (2017 年グループ)、その他の地域では 2014 年時点で 2,202 名 (2014 年グループ)、1,716 名 (2017 年グループ) であった。

(2) 第 1 大臼歯齲蝕経験率【図 1～3】

いずれの地域および年次のグループにおいても、全般に学年上昇とともに齲蝕経験率が高くなる傾向が認められた。そこで、3 年生時点の第 1 大臼歯齲蝕経験率を、2014 年グループ (2016 年評価：COVID-19 感染拡大前)、2017 年グループ (2019 年評価：COVID-19 感染拡大前) で比較した。さらに、6 年生時点の 2014 年グループ (2019 年評価：COVID-19 感染拡大前) と 2017 年グループ (2022 年評価：COVID-19 感染拡大後) で比較した。

3 年生時点の第 1 大臼歯齲蝕経験率において、地域毎に特徴が認められた。A 地域では、4 部位ともに 2014 年グループと 2017 年グループはほぼ同じ値を示した。B 地域では、4 部位ともに 2017 年グループが 2014 年グループより高値を示した。その他の地域では、4 部位ともに 2017 年グループが 2014 年グループに較べてやや高い値を示した。

6 年生時点の第 1 大臼歯齲蝕経験率において、A 地域の 2014 年グループは 2017 年グループに較べて高い値を認めた。一方 B 地域では、2014 年グループは 2017 年グループに較べて低い値を示した。その他の地域では、2014 年グループは 2017 年グループに較べて低い値を示した。

(3) 歯垢付着ありの者の割合【図 4】

いずれの地域および年次のグループにおいても、全般に 5 年生まで学年上昇とともに歯垢付着ありの者の割合が高くなる傾向が認められた。5 年生から 6 年生にかけて、やや低下する傾向にあった。

A 地域の 2 年生と 3 年生を除き、各地域の 2017 年グループは 2014 年グループより、1 年生から 6 年生まで歯垢付着ありの者の割合が高く示された。

(4) 歯肉の炎症あり (G・GO) の者の割合【図 5】

いずれの地域および年次のグループにおいても、全般に 5 年生まで学年上昇とともに歯肉炎症ありの者の割合が高くなる傾向が認められた。5 年生から 6 年生にかけて、やや低下する傾向にあった。

各地域の 2014 年グループと 2017 年グループの比較では、各学年で 5% 以上の割合の差は認められなかった。

(5) 歯肉炎 (G) のある者の割合【表 3】

歯肉炎 (G) に関して、いずれの地域においても、グループ間で各学年の差は 1%以下であった。

3 年生時点で歯肉炎と評価された者の割合は、A 地域の 2014 年グループで 2.3%、2017 年グループで 2.2%であった。B 地域では 2014 年グループ 0.8%、2017 年グループ 1.0%、その他の地域では 2014 年グループ 2.6%、2017 年グループ 1.7%であった。

6 年生時点で歯肉炎と評価された者の割合は、A 地域の 2014 年グループで 3.0%、2017 年グループで 2.9%と、ほぼ同様の値を示した。B 地域では 2014 年グループ 1.3%および 2017 年グループ 1.8%、その他の地域では 2014 年グループ 3.0%および 2017 年グループ 2.0%であった。

【個票提出の同意を得られた学校とその学校歯科医に対しアンケート調査を行ったグループ】 小中学校および学校歯科医に対するアンケート結果の概要

1. 調査目的および調査対象

令和元年12月に初めて報告された新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による死亡者数は2020年には3,466 人 (厚生労働省, 2020), 2021年には1 万 6,756 人と増加した (厚生労働省, 2021)。COVID-19感染拡大防止による激しい社会環境の変化の中で、医療サービス提供の遅れやCOVID-19以外の疾患に関する情報量の減少など医療を取り巻く環境が大きく変化したことが報告されている (WHO, 2022)

本調査では、コロナ禍前と現在の児童・生徒の心身および口腔内の健康状態を比較・検討することで、児童・生徒の心身および口腔内の健康状態の変化を確認し、今後の児童・生徒への口腔保健に関する支援・指導内容に反映することを、今回のアンケート調査の目的とした。

調査対象は、A地域内、B地域内、その他の地区における小学校および中学校と、同地区内の小学校および中学校の学校歯科医とした。

2. 調査票

今回使用したアンケート調査票は、小学校および中学校への調査票は別添 1 に、小学校の学校歯科医への調査票は別添 2 に、中学校の学校歯科医への調査票は別添 3 に、それぞれ示すものを使用した。

3. 調査結果

(1) 単純集計

①小学校

A地域257校、B地域248校、その他31校から回答があった。いずれの地区でも、ほとんどが養護教諭による回答だった。

歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナ感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、A地域で65.4%、B地域66.1%、その他74.2%

であった。また、新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A地域で47.1%、B地域31.9%、その他29.0%であった。回答内容を構成割合で示した詳細な結果は、別添4に示すとおりであった。

②中学校

A地域104校、B地域112校、その他18校から回答があった。いずれの地区でも、ほとんどが養護教諭による回答だった。

歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、A地域で65.4%、B地域74.1%、その他72.2%であった。また、新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A地域で36.5%、B地域33.9%、その他22.2%であった。回答内容を構成割合で示した詳細な結果は、別添5に示すとおりであった。

③小学校学校歯科医

A地域141名、B地域105名、その他27名から回答があった。

歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、A地域で58.9%、B地域64.8%、その他63.0%であった。また、新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A地域で44.7%、B地域38.1%、その他40.7%であった。回答内容を構成割合で示した詳細な結果は、別添6に示すとおりであった。

④中学校学校歯科医

A地域65名、B地域58名、その他17名から回答があった。

歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナウイルス感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、A地域で61.5%、B地域51.7%、その他70.6%であった。また、新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A地域で44.6%、B地域39.7%、その他52.9%であった。回答内容を構成割合で示した詳細な結果は、別添7に示すとおりであった。

(2) クロス集計（概要のみ記載。詳細は別添8に示すとおり。）

①学校区分・エリアによる歯科的取り組みの現況（質問4×質問5）

A地域においては小学校、中学校の双方で学校での歯磨きが行われている学校ではフッ化物洗口も行われていることが示唆された。

②新型コロナウイルス感染症流行下での口腔内環境の変化と他の項目の比較

1)虐待と口腔内環境の変化（質問13×質問11）

新型コロナウイルス感染症流行後の虐待を疑う事例に関する学校歯科医の回答と新型コロナウイルス感染症流行前後の口腔内環境の変化に関する学校歯科医の回答の傾向に有意差はなかった。

一方でB地域の小学校とA地域の中学校において、新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は虐待を疑う所見のうち、

「髪や服装が不潔な感じがする」と回答した割合が多い傾向にあった（質問11×質問12）。

2) 歯科治療の受診と口腔内環境の変化（質問3×質問8）

B地域の小学校において、新型コロナ感染症流行下において歯科治療に関して、受診が怖いなどの相談を受けた群は相談を受けていない群に比べ、口腔内環境が悪化したと回答した割合が多かった。

また、A地域の中学校においては小児患者数（質問4×質問11）および定期検診患者数（質問5×質問11）が減少していると回答した学校歯科医は、口腔内環境が悪化したと回答した割合が高い傾向にあった。

3) 口腔内環境の変化と齲蝕の増減（質問11×質問6）

A地域、B地域の小学校および中学校において、新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は、う蝕が増えたと回答した割合が多い傾向にあった。

4) 新型コロナ感染症流行下における口腔内環境の変化の種別（質問11×質問2）

4-1) A地域の小学校

新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は「口腔清掃状態の悪化」、「う蝕の増加」、「未処置歯の増加」、「歯肉炎の増加・増悪」があると回答した割合が多い傾向にあった。

4-2) B地域の小学校

新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は「口腔清掃状態の悪化」、「う蝕の増加」、「歯肉炎の増加・増悪」、「口呼吸の増加」があると回答した割合が多い傾向にあった。

4-3) A地域の中学校

新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は「口腔清掃状態の悪化」、「う蝕の増加」、「歯肉炎の増加・増悪」、「口呼吸の増加」があると回答した割合が多い傾向にあった。

4-4) B地域の中学校

新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は「口腔清掃状態の悪化」、「歯肉炎の増加・増悪」、「口呼吸の増加」があると回答した割合が多い傾向にあった。

（3）自由記載（概要のみ記載。多数意見は別添9に示すとおり。）

①小学校

A地域では、147件の自由記載があった。代表的な意見としては、運動不足（体力の低下や肥満傾向を含む）がみられる児童が多くなったとか、マスクを外すことに抵抗がある児童が増えたとか、マスクの常時着用で口呼吸の児童が

増えたとか、学校での歯磨きをしないために丁寧な歯磨きができていない児童が増えたなどが記載されていた。

B地域では、106件の自由記載があった。代表的な意見としては、運動不足（体力の低下や肥満傾向を含む）がみられる児童が多くなったとか、マスクを外すことに抵抗がある児童が増えたとか、歯垢の付着を指摘される児童が増えたなどが記載されていた。

その他では、18件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクの常時着用で歯や口の状態が分かりにくくなったなどが記載されていた。

②中学校

A地域では、58件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクを外すことに抵抗がある生徒が増えたとか、運動不足（体力の低下、視力の低下、肥満傾向を含む）がみられる生徒が多くなったとか、不登校の生徒が増えたなどが記載されていた。

B地域では、42件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクを外すことに抵抗がある児童が増えたとか、歯垢の付着を指摘される児童が増えたなどが記載されていた。

その他では、8件の自由記載があった。代表的な意見としては、不登校の生徒が増えたとか、体重増加者が増えたなどが記載されていた。

③小学校学校歯科医

A地域では、41件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えた、学校でのブラッシングがなくなったことを危惧しているなどが記載されていた。

B地域では、28件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えたとか、検診時の感染予防に気を付けたなどが記載されていた。

その他では、10件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えたとか、虐待が増加している様子はないなどが記載されていた。

④中学校学校歯科医

A地域では、11件の自由記載があった。代表的な意見としては、口呼吸の防止について助言したなどが記載されていた。

B地域では、22件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクの常時着用で口呼吸の生徒が増えたとか、歯肉炎がある生徒が増えたなどが記載されていた。

その他では、6件の自由記載があった。代表的な意見としては、口腔清掃が悪化している生徒が増えたなどが記載されていた。

各グループの報告内容

1. 歯科検診個票調査グループ

1) 調査方法

調査対象の地区で同意が得られた小学校6年生・中学校3年生（2022年時点）の歯科検診個票を用いた。中学3年生の個票からは、小学校1年生から中学校3年生までの9年間の情報、小学校6年生の個票からは小学校1年から6年生の6年間の情報を得ることができた。これらを用いて、2014年、2017年をそれぞれ起点とする2つの集団（「2014年グループ」および「2017年グループ」）を対象とし、以下の項目に対し、小学校1年生～6年生のデータ分析を行った。

- （1）第一大臼歯4本の齲蝕経験率の調査
- （2）歯垢付着ありの者の割合
- （3）歯肉の炎症ありの者の割合
- （4）歯肉の状態

2) 対象

（1）各集団の概要

2014年グループ

：2014年時点で小学校1年生であった集団。

COVID-19 感染拡大前の2014年から2019年にかけて小学校に在籍している。

2017年グループ

：2017年時点で小学校1年生であった集団。

COVID-19 感染拡大前から感染拡大後の2017年から2022年にかけて小学校に在籍している。

（2）地域ごとの分析対象者数

A地域 10,057名（2014年グループ）、11,872名（2017年グループ）

B地域 4,013名（2014年グループ）、5,188名（2017年グループ）

その他の地域 2,202名（2014年グループ）、1,716名（2017年グループ）

上記の対象者から「個票のデータが1年分すべてない」あるいは「個票データに一部入力があるものの、第一大臼歯に関するデータがない、または不備がある」者を除外し、解析を行った。

3) 調査結果

(1) 第一大臼歯 4 本の齲蝕経験率の調査

いずれの地域および年次のグループにおいても、全般に学年上昇とともに齲蝕経験率が高くなる傾向が認められた。

3 年生時点の第 1 大臼歯齲蝕経験率において、地域毎に特徴が認められた。A 地域では 4 部位ともに 2014 年グループと 2017 年グループはほぼ同じ値を示し、両者に有意差は認められなかった。B 地域では、4 部位ともに 2017 年グループが 2014 年グループより高値を示し、下顎右側第一大臼歯以外の 3 部位で有意差を認めた。(上顎左右第一大臼歯および下顎左側第一大臼歯は $P<0.05$ 、下顎右側第一大臼歯は $P=0.072$)

その他の地域では、4 部位ともに 2017 年グループが 2014 年グループに比べてやや高い値を示したが、有意差は認めなかった。

6 年生時点の第 1 大臼歯齲蝕経験率において、A 地域の 2014 年グループは 2017 年グループに較べて高値を認め、上顎左側第一大臼歯および下顎左右第一大臼歯においては有意差を認めた。(いずれも $P<0.01$) 一方 B 地域では、2014 年グループは 2017 年グループに較べて低い値を示したが、上顎左側第一大臼歯以外に有意差は認めなかった。(上顎左側第一大臼歯は $P<0.05$)。その他の地域では、2014 年グループは 2017 年グループに較べて低い値を示し、4 部位ともに有意差を認めた。(いずれも $P<0.01$)

(2) 歯垢付着ありの者の割合

いずれの地域および年次のグループにおいても、全般に 5 年生まで学年上昇とともに歯垢付着ありの者の割合が高くなる傾向が認められた。5 年生から 6 年生にかけて、やや低下する傾向にあった。

A 地域の 2 年生と 3 年生を除き、各地域の 2017 年グループは 2014 年グループより、1 年生から 6 年生まで歯垢付着ありの者の割合が高く示された。

A 地域では 1 年生・5 年生・6 年生 (いずれも $P<0.01$) に、B 地域ではすべての学年 (いずれも $P<0.01$) に、その他の地域では 1 年生 ($P<0.05$)・から 3 年生までの 3 グループ比較において、B 地域の 1 年生と 2 年生を除き、2020 年 3 年生・4 年生・5 年生 (いずれも $P<0.01$) に有意差が認められた。

(3) 歯肉の炎症あり (G・GO) の者の割合

いずれの地域および年次のグループにおいても、全般に 5 年生まで学年上昇とともに歯肉炎症ありの者の割合が高くなる傾向が認められた。5 年生から 6 年生にかけて、やや低下する傾向にあった。

各地域の 2014 年グループと 2017 年グループの比較では、各学年で 5%以上の割合の差は認められなかった。

A 地域の 1 年生～3 年生および 6 年生 ($P<0.01$)、B 地域の 2 年生 ($P<0.01$)、その他の地域の 3 年生 ($P<0.05$)・5 年生 ($P<0.01$) において、2014 年グループに比べ 2017 年グループでは歯肉の炎症ありの割合が有意に高い値を示した。

(4) 歯肉の状態

G (歯肉炎) に関して、いずれの地域においても、グループ間で各学年の差は 1%以下であった。

3 年生時点で歯肉炎と評価された者の割合は、A 地域の 2014 年グループで 2.3%、2017 年グループで 2.2%であった。B 地域では 2014 年グループ 0.8%、2017 年グループ 1.0%、その他の地域では 2014 年グループ 2.6%、2017 年グループ 1.7%であった。

(5) 各地域の結果

いずれの地域においても、第 1 大臼歯の齲蝕経験率・歯垢付着ありの者の割合・歯肉の炎症ありの者の割合に関して、おおむね学年上昇とともに割合が高くなる傾向がみられた。一方で、2014 年グループと 2017 年グループを較べると、それぞれの地域で傾向に違いがみられた。

A 地域： 第 1 大臼歯の齲蝕経験率は 2014 年グループと 2017 年グループにほぼ同様の傾向を示し、大幅な違いは見られなかったが、4 年生～6 年生においては 2014 年グループ(COVID-19 感染拡大前)の方が 2017 年グループ(COVID-19 感染拡大後)に較べ、割合が高くなった。一方、歯垢付着ありの者の割合の 5 年生・6 年生と歯肉の炎症ありの者の割合の 6 年生では、2014 年グループ(COVID-19 感染拡大前)に較べ、2017 年グループ(COVID-19 感染拡大後)の方が高い割合となった。

B 地域： 第 1 大臼歯の齲蝕経験率・歯垢付着ありの者の割合において、全般的に 2014 年グループ(COVID-19 感染拡大前)に較べ 2017 年グループ(COVID-19 感染拡大後)の方が高い割合となり、特に歯垢付着ありの者の割合については全学年において有意差が認められた。一方、歯肉の炎症ありの者の割合は 2014 年グループと 2017 年グループともおおむね同様の傾向を示し、大幅な違いは認められなかった。

その他の地域： 第 1 大臼歯の齲蝕経験率は、4 年生～6 年生において 2014 年グループ(COVID-19 感染拡大前)の方が 2017 年グループ(COVID-19 感染拡大後)に較べて高い割合を示した。歯垢付着ありの者の割合・歯肉の炎症ありの者の割合は、3 年生～5 年生において 2014 年グループに較べ 2017 年グループの方が高い割合を示した。

表1. のべ人数（人）

10

A地域

		学年								
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
ベースライン	2014年	10057	10057	10057	10060	10057	10057	10351	10350	10350
	2017年	10500	10500	10500	11872	11872	11872			

B地域

		学年								
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
ベースライン	2014年	4013	4013	4013	4010	4013	4013	3974	3974	3974
	2017年	5016	5016	5016	5188	5188	5188			

その他の地域

		学年								
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
ベースライン	2014年	2203	2203	2203	2202	2208	2202	2202	2202	2202
	2017年	584	584	584	1716	1716	1716			

注1：太字部分のデータを分析に使用
注2：2022年時点での登録となるため、登録者のグループ参加時点は異なる

表2. データクリーニング後ののべ人数（人）

11

A地域

		学年								
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
ベースライン	2014年	9443	9447	9459	9474	9469	9575	9864	9745	9617
	2017年	10295	10304	10337	11735	11726	11663			

B地域

		学年								
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
ベースライン	2014年	3693	3735	3765	3817	3843	3859	3791	3760	3727
	2017年	4749	4794	4849	5041	5085	5098			

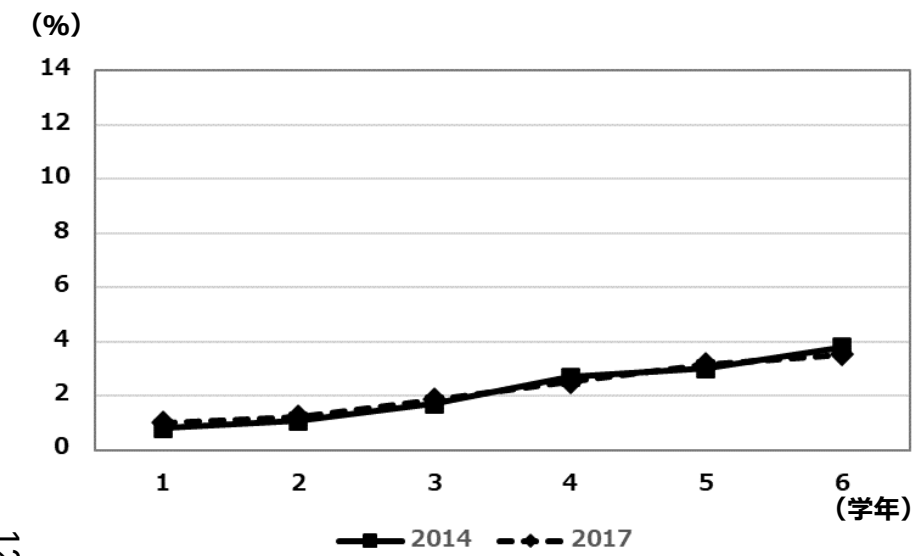
その他の地域

		学年								
		小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
ベースライン	2014年	2092	2091	2092	2094	2182	2180	2145	2101	2085
	2017年	577	579	580	1680	1690	1685			

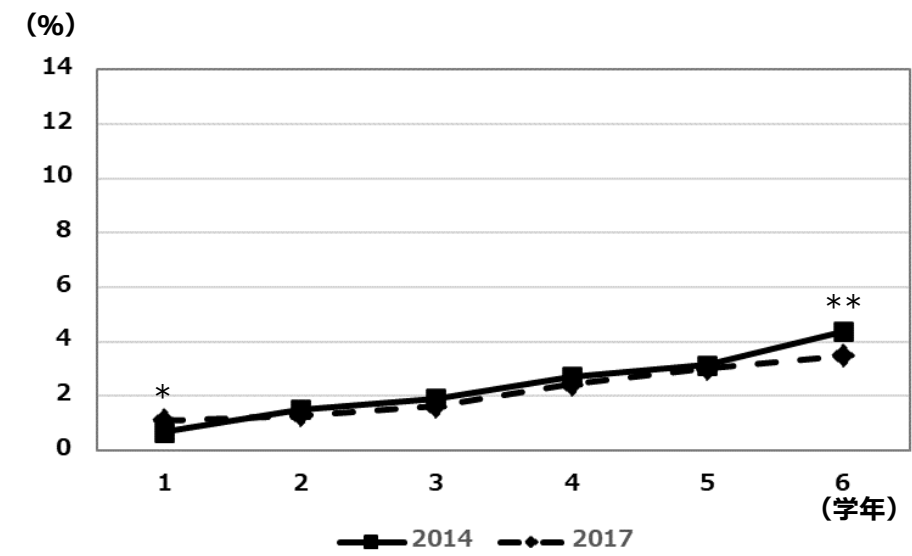
除外基準：個票のデータが1年分すべてない
個票データに一部入力があるものの第一大臼歯に関するデータがない、または不備がある

図1. 第1大臼歯の齲蝕経験率(%)：A地域

右上

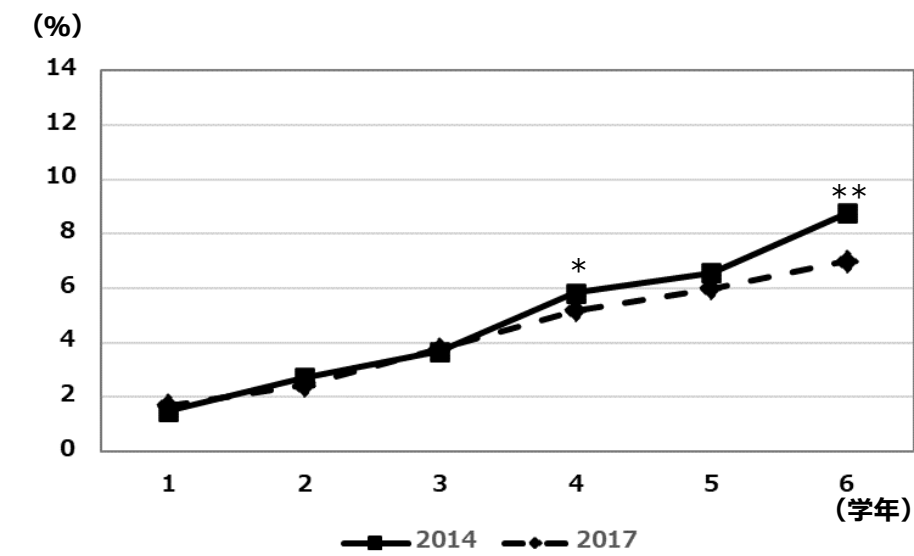


左上

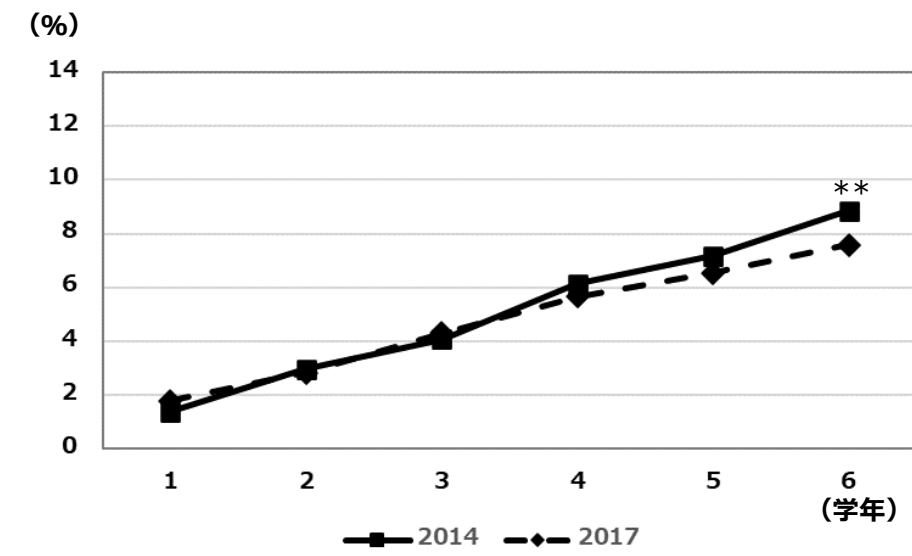


12

右下



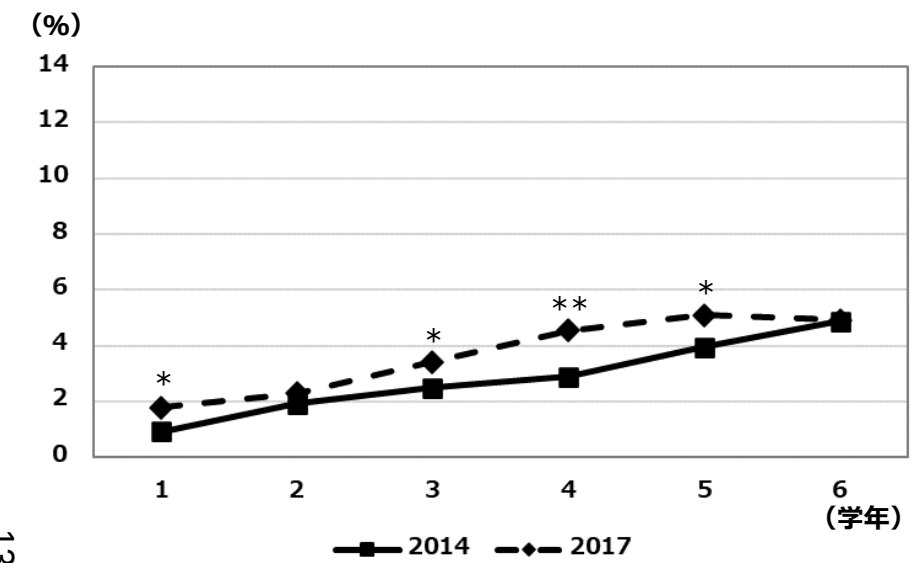
左下



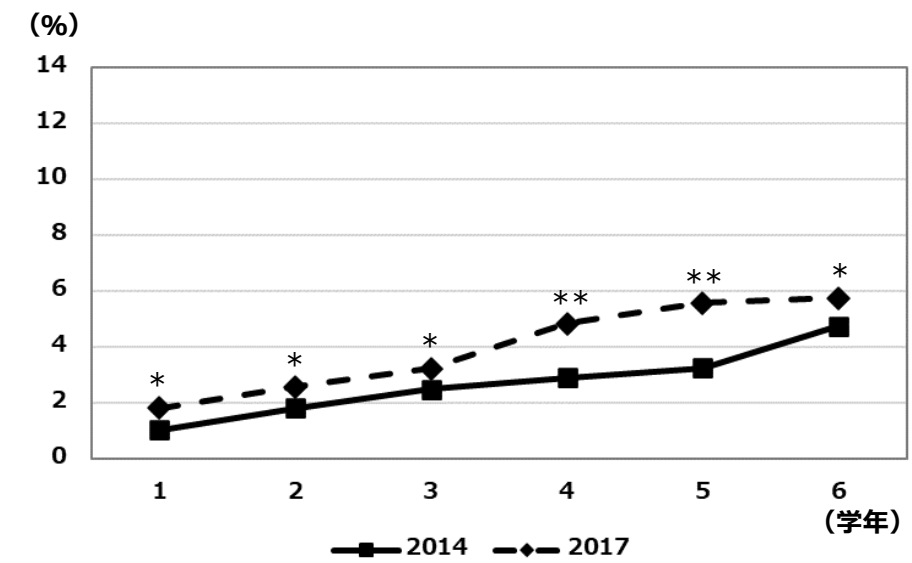
X²検定, * : P<0.05 ** : P<0.01

図2. 第1大臼歯の齲蝕経験率(%)：B地域

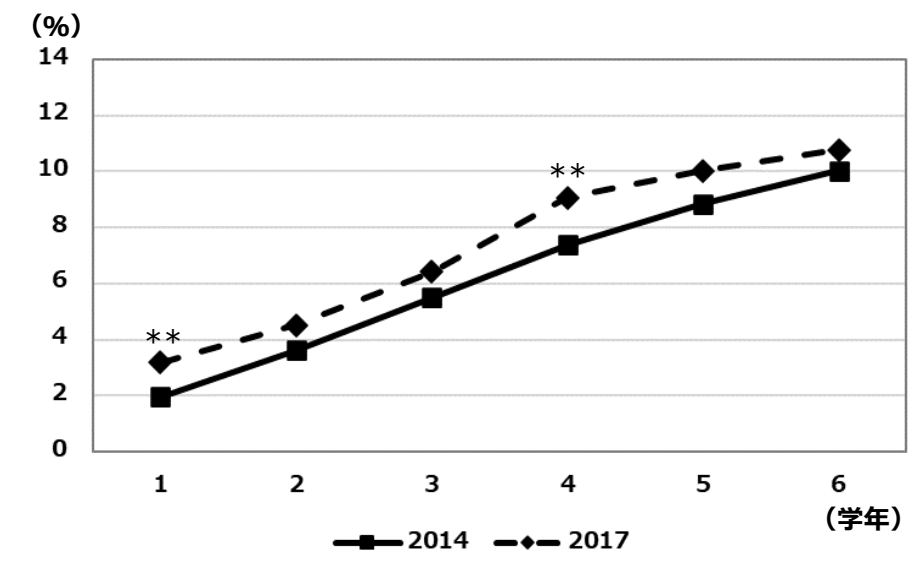
右上



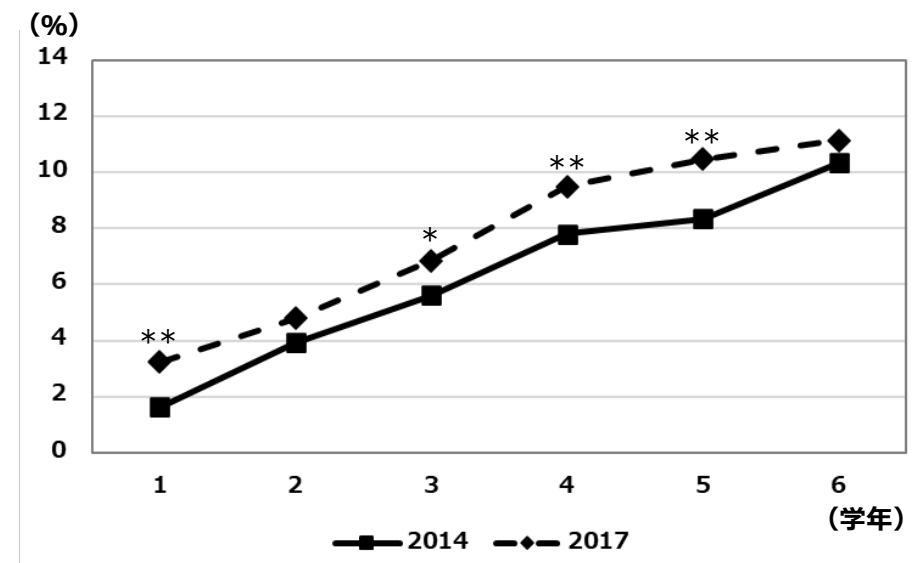
左上



右下

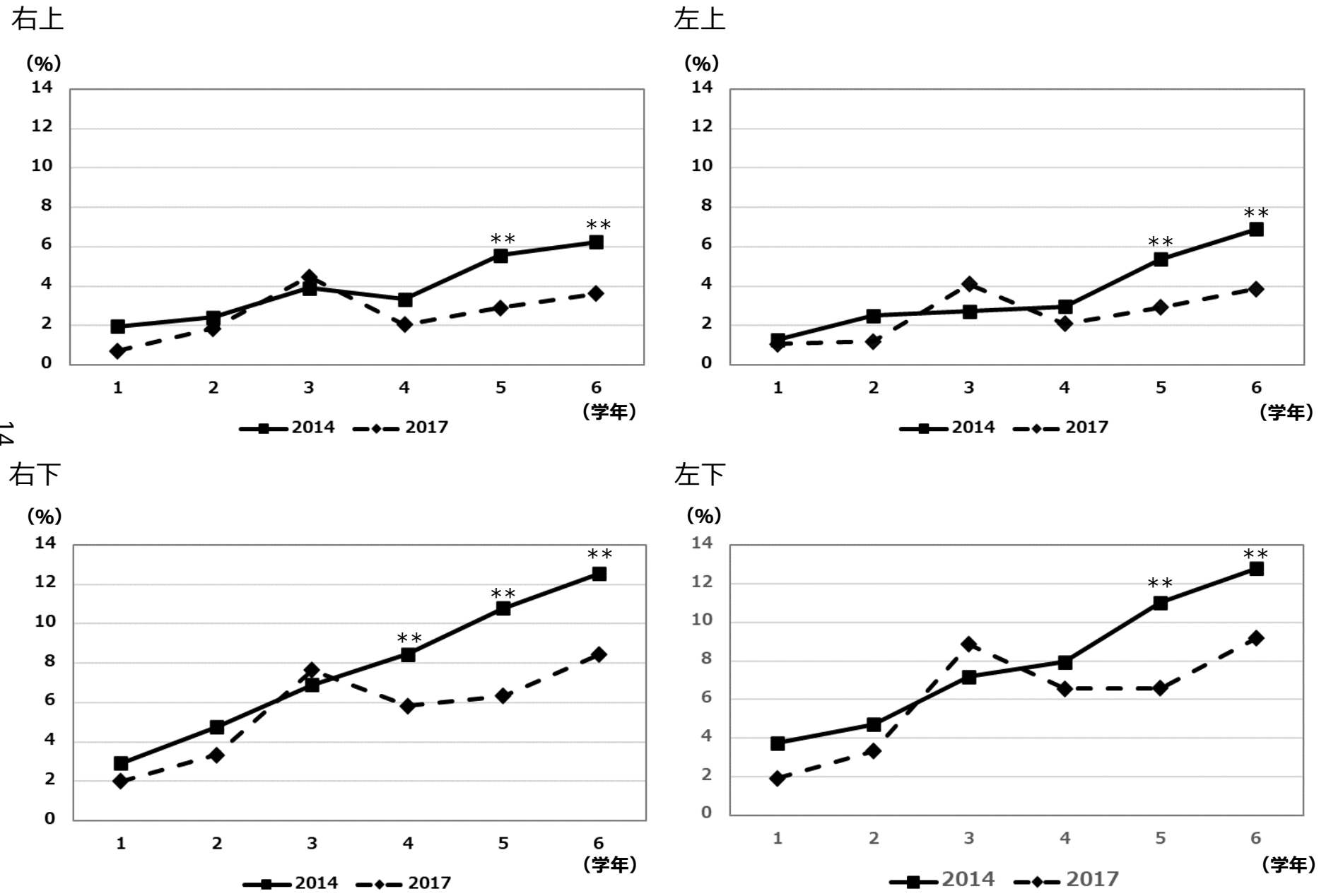


左下



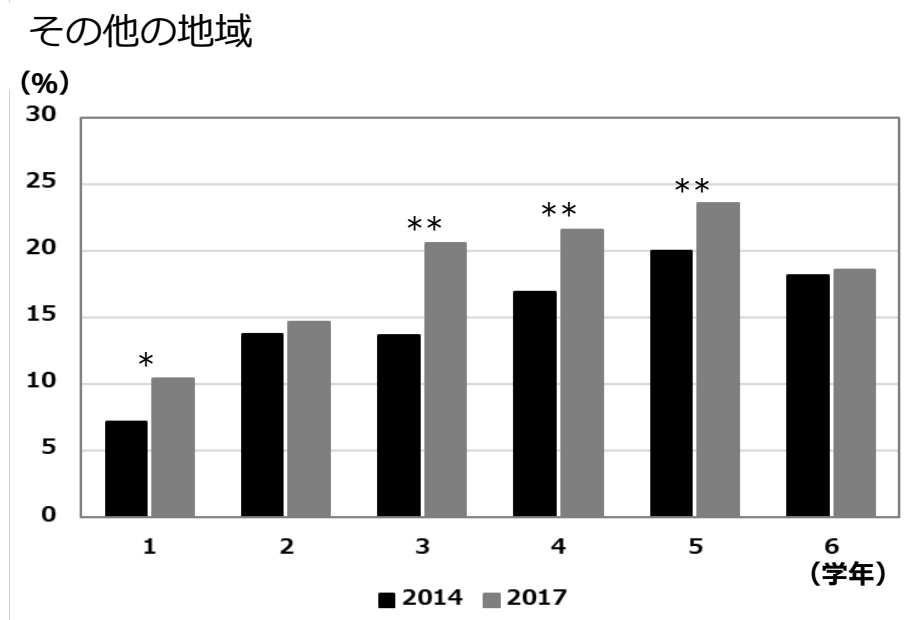
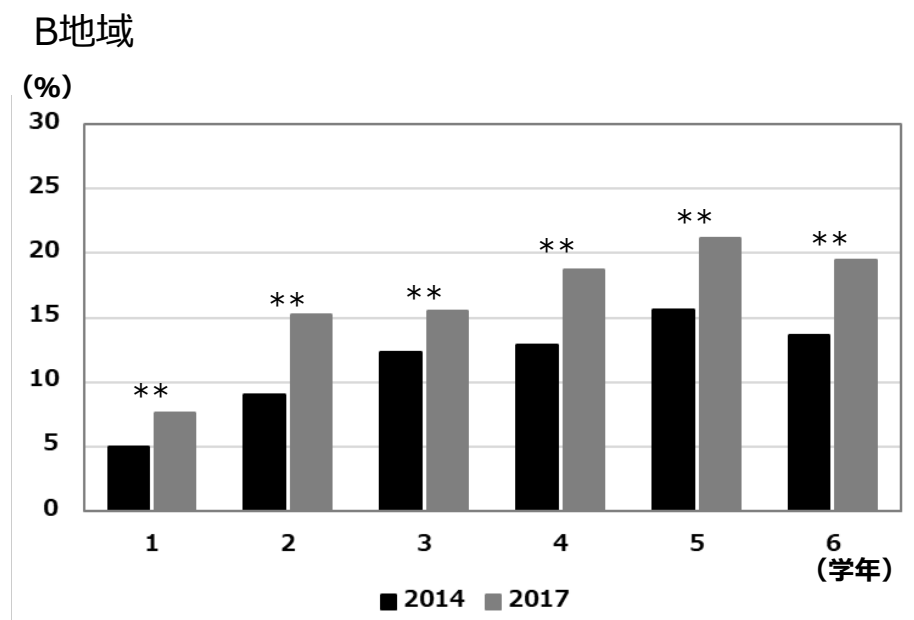
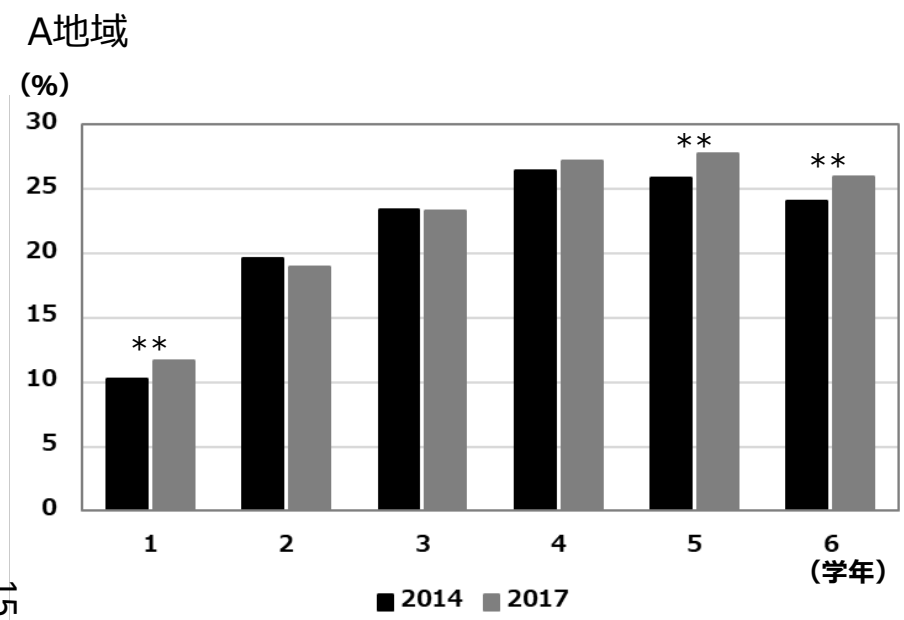
X²検定, * : P<0.05 ** : P<0.01

図3. 第1大臼歯の齲蝕経験率(%)：その他の地域



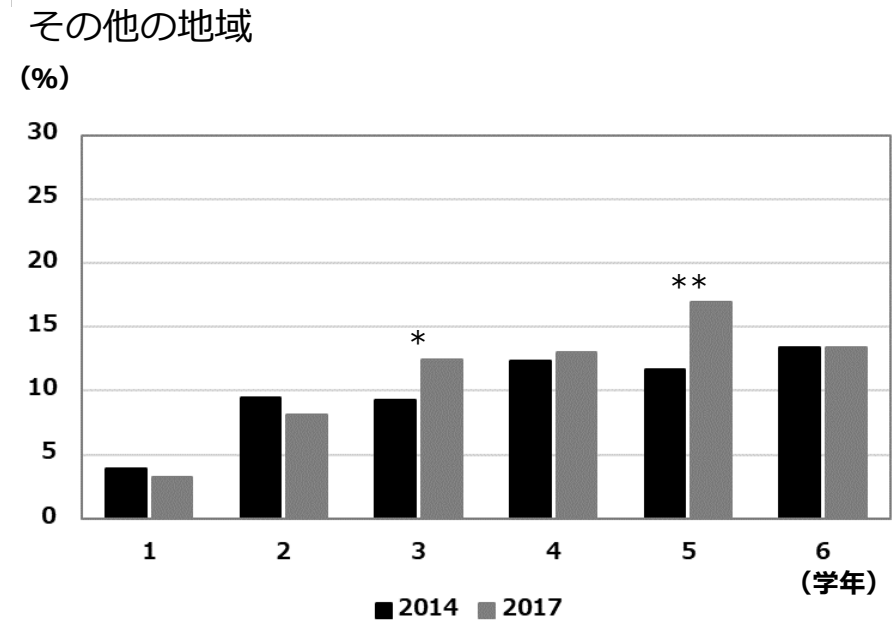
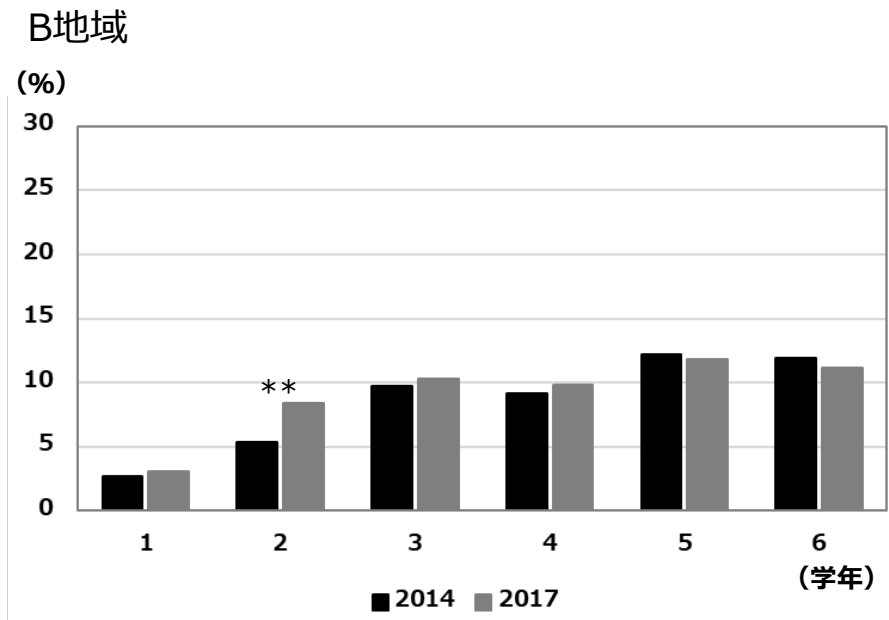
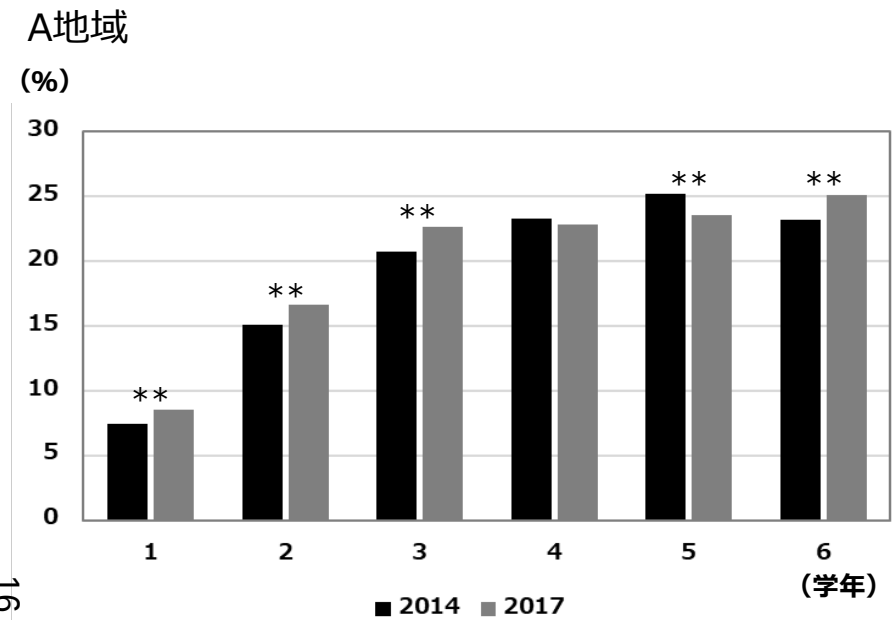
X²検定, * : P<0.05 ** : P<0.01

図4. 歯垢付着ありの者の割合 (%)



X²検定, * : $P < 0.05$ ** : $P < 0.01$

図5. 歯肉の炎症ありの者の割合 (%)



X²検定, * : $P < 0.05$ ** : $P < 0.01$

表3. 歯肉の状態 (%)

A地域

		学年						
		1	2	3	4	5	6	
ベースライン	2014年	健全	8738	8020	7492	7249	7074	7341
		(%)	(92.53)	(84.89)	(79.20)	(76.51)	(74.71)	(76.67)
		GO	655	1336	1747	1913	2132	1935
		(%)	(6.94)	(14.14)	(18.47)	(20.19)	(22.52)	(20.21)
		G	46	87	215	297	250	286
		(%)	(0.49)	(0.92)	(2.27)	(3.13)	(2.64)	(2.99)
		不明	4	4	5	15	13	13
		(%)	(0.04)	(0.04)	(0.05)	(0.16)	(0.14)	(0.14)
	2017年	健全	9403	8591	7983	9050	8958	8729
		(%)	(91.34)	(83.38)	(77.23)	(77.11)	(76.38)	(74.84)
		GO	825	1584	2113	2300	2449	2594
		(%)	(8.01)	(15.37)	(20.44)	(19.60)	(20.88)	(22.24)
		G	52	129	226	380	314	332
		(%)	(0.51)	(1.25)	(2.19)	(3.24)	(2.68)	(2.85)
		不明	15	0	15	6	7	8
		(%)	(0.15)	(0.00)	(0.15)	(0.05)	(0.06)	(0.07)

B地域

		学年						
		1	2	3	4	5	6	
ベースライン	2014 年	健全	3568	3533	3391	3435	3374	3395
		(%)	(96.62)	(94.59)	(90.07)	(89.99)	(87.80)	(87.98)
		GO	92	182	336	302	417	410
		(%)	(2.49)	(4.87)	(8.92)	(7.91)	(10.85)	(10.62)
		G	8	18	31	49	50	51
		(%)	(0.22)	(0.48)	(0.82)	(1.28)	(1.30)	(1.32)
		不明	25	2	7	31	2	3
		(%)	(0.68)	(0.05)	(0.19)	(0.81)	(0.05)	(0.08)
	2017 年	健全	4545	4392	4348	4544	4480	4526
		(%)	(95.70)	(91.61)	(89.67)	(90.14)	(88.10)	(88.78)
		GO	134	361	453	432	533	479
		(%)	(2.82)	(7.53)	(9.34)	(8.57)	(10.48)	(9.40)
		G	11	40	47	63	67	91
		(%)	(0.23)	(0.83)	(0.97)	(1.25)	(1.32)	(1.79)
		不明	59	1	1	2	5	2
		(%)	(1.24)	(0.02)	(0.02)	(0.04)	(0.10)	(0.04)

その他の地域

		学年						
		1	2	3	4	5	6	
ベースライン	2014年	健全	1985	1876	1883	1809	1906	1883
		(%)	(94.89)	(89.72)	(90.01)	(86.39)	(87.35)	(86.38)
		GO	69	180	140	206	212	228
		(%)	(3.30)	(8.61)	(6.69)	(9.84)	(9.72)	(10.46)
		G	13	19	55	53	43	65
		(%)	(0.62)	(0.91)	(2.63)	(2.53)	(1.97)	(2.98)
		不明	25	16	14	26	21	4
		(%)	(1.20)	(0.77)	(0.67)	(1.24)	(0.96)	(0.18)
	2017年	健全	557	528	507	1355	1287	1337
		(%)	(96.53)	(91.19)	(87.41)	(80.61)	(76.15)	(79.35)
		GO	15	40	62	174	249	192
		(%)	(2.60)	(6.91)	(10.69)	(10.35)	(14.73)	(11.39)
		G	4	7	10	45	38	34
		(%)	(0.69)	(1.21)	(1.72)	(2.68)	(2.25)	(2.02)
		不明	1	4	1	107	116	122
		(%)	(0.17)	(0.69)	(0.17)	(6.37)	(6.86)	(7.24)

2. 個票提出の同意を得られた学校とその学校歯科医に対しアンケート調査を行ったグループ

- 1) 調査方法および調査対象：歯科検診個票の提出に同意した A 地域、B 地域、その他の地域の小学校、中学校とその学校歯科医に対し、アンケート調査を行った。
- 2) 調査結果
 - (1) 単純集計

① 学校

【小学校】

A 地域 257 校、B 地域 248 校、その他 31 校から回答があった。いずれの地区でも、ほとんどが養護教諭による回答だった。
歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナ感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A 地域で 47.1%、B 地域 31.9%、その他 29.0%であった。

【中学校】

A 地域 104 校、B 地域 112 校、その他 18 校から回答があった。いずれの地区でも、ほとんどが養護教諭による回答だった。
歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナ感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A 地域で 36.5%、B 地域 33.9%、その他 22.2%であった。

② 学校歯科医

【小学校】

A 地域 141 名、B 地域 105 名、その他 27 名から回答があった。
歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナ感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A 地域で 44.7%、B 地域 38.1%、その他 40.7%であった。

【中学校】

A 地域 65 名、B 地域 58 名、その他 17 名から回答があった。
歯の外傷・口腔粘膜外傷については、新型コロナ感染拡大以前と比較して変わらないという回答が最も多く、新型コロナ感染症流行下において口腔内環境が悪くなったという回答は、A 地域で 44.6%、B 地域 39.7%、その他 52.9%であった。回答内容を構成割合で示した詳細な結果は、別添 7 に示すとおりであった。

(2) クロス集計

① 学校区分・エリアによる歯科的取り組みの現況（質問4×質問5）

A地域においては小学校、中学校の双方で学校での歯磨きが行われている学校ではとフッ化物洗口も行われていることが示唆された。

② 新型コロナウイルス感染症流行下での口腔内環境の変化と他の項目の比較

1) 虐待と口腔内環境の変化（質問13×質問11）

B地域の小学校とA地域の中学校において、新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は虐待を疑う所見のうち、「髪や服装が不潔な感じがする」と回答した割合が多い傾向にあった（質問11×質問12）。

2) 歯科治療の受診と口腔内環境の変化（質問3×質問8）

B地域の小学校において、新型コロナウイルス感染症流行下において歯科治療に関して、受診が怖いなどの相談を受けた群は相談を受けていない群に比べ、口腔内環境が悪化したと回答した割合が多かった。

また、A地域の中学校においては小児患者数（質問4×質問11）および定期検診患者数（質問5×質問11）が減少していると回答した学校歯科医は、口腔内環境が悪化したと回答した割合が高い傾向にあった。

3) 口腔内環境の変化と齲蝕の増減（質問11×質問6）

A地域、B地域の小学校および中学校において、新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は、う蝕が増えたと回答した割合が多い傾向にあった。

4) 新型コロナウイルス感染症流行下における口腔内環境の変化の種別（質問11×質問2）

対象地域のすべての回答で新型コロナウイルス感染症流行下において口腔内環境が悪化したと回答した学校歯科医は「口腔清掃状態の悪化」、「う蝕の増加」、「未処置歯の増加」、「歯肉炎の増加・増悪」があると回答した割合が多い傾向にあった。また口呼吸の増加も回答があった。

（3）自由記載

①学校

【小学校】

271件の自由記載があった。代表的な意見としては、運動不足（体力の低下や肥満傾向を含む）がみられる児童が多くなったとか、マスクを外すことに抵抗がある児童が増えたとか、マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えたとか、学校での歯磨きをしないために丁寧な歯磨きができている児童が増えたなどが記載されていた。

【中学校】

108件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクを外すことに抵

抗がある生徒が増えたとか、運動不足（体力の低下、視力の低下、肥満傾向を含む）がみられる生徒が多くなったとか、歯垢の付着を指摘される児童が増えた、不登校の生徒が増えたなどが記載されていた。

②学校歯科医

【小学校】

79 件の自由記載があった。代表的な意見としては、マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えた、学校でのブラッシングがなくなったことを危惧している、検診時の感染予防に気を付けたなどが記載されていた。

【中学校】

39 件の自由記載があった。代表的な意見としては、歯肉炎がある生徒が増えた、口腔清掃が悪化している生徒が増えた、口呼吸の防止について助言したなどが記載されていた。

本調査の考察

今回の調査を行った A 地区は人口 10 万人以上の中都市、B 地域は、人口 50 万人以上の大都市であり、地域による差も考慮し分析した。

双方の分析結果から、A 地域の小学校では、第一大臼歯齲蝕経験率（むし歯になったことがある歯の割合）についてコロナ禍前とコロナ禍で変化はみられなかった。コロナ禍で歯垢付着率・歯肉炎の増加がみられた。B 地域の小学校では、コロナ禍で齲蝕経験率の増加と歯垢付着率の増加がみられた。その他の地域の小学校では、第一大臼歯齲蝕経験率コロナ禍で齲蝕経験率の減少がみられ、コロナ禍で歯垢付着率・歯肉炎の増加がみられた。

以上をまとめると、A 地域・その他の地域は、コロナ禍前にほとんどの学校で歯みがきを行っていた。コロナ禍で学校での歯みがきを中止した割合が多く、このことがすべての原因とは考えてはいないが、歯垢の付着率・歯肉炎は増加している。それにも関わらず、第一大臼歯の齲蝕経験率（むし歯になった割合）はコロナ禍でも減少している。

しかし、B 地域では、コロナ禍で歯垢付着率の増加や第一大臼歯の齲蝕経験率が上がっており、結果として歯は増えていたことになる。この地域はコロナ禍前には 9 割の学校でフッ化物洗口が行われていたがコロナ禍で中止していた割合が多かった。このことから、B 地域ではフッ化物洗口を学校で行うことが、齲蝕予防になっていたと考えられる。

齲蝕予防には日ごろから学校現場でも歯みがきを行い、フッ化物洗口を行うことが、緊急事態が起きた際にも子供たちの口腔の健康を守るためにも重要と考える。

また今回は、子どもの心身の問題についてもアンケート調査から読み取れることについても注目した。ゲームへの依存、不登校・登校しぶり、肥満傾向など生活習慣の乱れ、さらに歯肉炎・歯垢付着の憎悪に関しては、家庭内での問題を含むことも多く、詳細を知することは難しいが、学校健診の場で、歯肉炎・歯垢の付着の程度と肥満傾向、清潔感・不潔感などから、児童生徒の問題に気が付き、その情報を学校と共有することで心身のケアにもつながると考える。さらに少数ではあるが、虐待を疑う事例がコロナ禍で増えたと感じている学校歯科医からの回答もあり、家庭での歯・口腔粘膜の外傷が増えたなどの回答についても、学校、学校歯科医間で連携し、見守る必要がある。

COVID-19感染拡大という大変な時期を大切な成長期に過ごさなければならなかった児童生徒の現在の状況を把握し、まとめて置くことは、非常に重要である。問題を把握し、非常事態が起きる以前より、学校での口腔衛生指導の重要性、また歯科検診時に学校歯科医が口腔内・外から読み取る情報についての確認、さらにその情報共有が必要なことが今回の調査で確認された。今後、このような事態が起きた場合の対応方法をこのデータをもとに今後も検証を行うことを希望する。

(別添 1)

小学校へのアンケート

コロナ禍における児童生徒の調査研究

2020 年、世界において新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大し、本邦においても 2020 年 4 月に全国に緊急事態宣言が発出されました。学校でも、これまでの学校生活ができない時期もあり、子供たちを取り巻く環境も大きく変わっています。

多くの学校生活の活動を制限され、ストレスがかかる生活の中で、子供たちの口腔内にはどのような変化が起きているのでしょうか？子供たちの口腔の現状を把握し、今後の子供たちへの支援・指導を検討したいと思います。

子供たちと長い時間を共有する学校の先生だからわかることも多いと思います。
子供たちの健康な未来のために、ぜひアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

質問 1 下記にお答えください。

令和 2 年度 6 月 30 日までに歯科検診を行えた ☐ はい ☐ いいえ

令和 3 年度 6 月 30 日までに歯科検診を行えた ☐ はい ☐ いいえ

令和 4 年度 6 月 30 日までに歯科検診を行えた ☐ はい ☐ いいえ

質問 2 回答者の方の職種で当てはまるものはどれですか？（複数回答可）

☐ 校長 ☐ 副校長 ☐ 教頭 ☐ 学級担任 ☐ 指導主事 ☐ 養護教諭

☐ その他

質問 3

新型コロナ感染症流行下において歯科治療に関して、受診が怖いなどの相談をうけましたか？

☐ 受けた

☐ 受けてない

☐ 自身は受けていないが、教諭などで受けたと聞いたことがある

☐ わからない

質問 4 学校での歯みがきの実施について

☐ 以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している

☐ コロナ禍で中止していたが、現在は以前と同様の方法で再開している

☐ コロナ禍で中止していたが、現在は以前と異なる方法で再開している

☐ コロナ禍でも中止することなく、以前と同様の方法で実施している

- ☐ コロナ禍でも中止することはなかったが、以前と異なる方法で実施している
- ☐ 以前から実施していない

質問5 学校でのフッ化物洗口の実施について

- ☐ 以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している
- ☐ コロナ禍で1年以上中止していたが、現在は再開している
- ☐ コロナ禍で1年未満中止していたが、現在は再開している
- ☐ コロナ禍でも中止することなく、継続して実施している
- ☐ 以前から実施していない

質問6

歯の外傷・口腔粘膜外傷について 新型コロナ感染拡大以前との比較でお答えください。

- ☐ 学校生活時の外傷が増えた
- ☐ 登下校を含む学校生活時以外の場所での外傷が増えた
- ☐ 家庭での外傷が増えた
- ☐ 歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった
- ☐ 歯の外傷・口腔粘膜外傷の子は減った
- ☐ 変わらない
- ☐ わからない

質問7 新型コロナ感染症流行下において、口腔内環境に変化を感じますか？

- ☐ 悪くなった
- ☐ 変わらない
- ☐ 良くなった
- ☐ わからない

質問8

新型コロナウイルス感染症流行下において、子どもたちの口腔を含めた健康面や生活面で何か気になることがありましたらご記入ください。学校生活上だけではなく、家庭生活の中で気になることについてもお聞かせください。(例: 指の皮をむく、自分の髪の毛やまつげ、まゆげを抜く、唇を咬む、爪を咬む、チックなど) 自由記載

(別添 2)

小学校学校歯科医の方へのアンケート

コロナ禍における児童生徒の調査研究

2020 年、世界において新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大し、本邦においても 2020 年 4 月に全国に緊急事態宣言が発出されました。学校でも、これまでの学校生活ができない時期もあり、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わっています。

多くの学校生活の活動を制限され、ストレスがかかる生活の中で、子どもたちの口腔内にはどのような変化が起きているのでしょうか？子どもたちの口腔の現状を把握し、今後の子どもたちへの支援・指導を検討したいと思います。

子どもたちの口腔内をよく把握されている学校歯科医の先生たちにご協力をお願いいたします。小学校と中学校の両方の学校を担当されている先生は、アンケート内容は同じですが、それぞれでお答えください。

子どもたちの明るい未来のために、ぜひアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

質問 1 学校歯科医として下記にお答えください。

令和 2 年度 6 月 30 日までに歯科検診を行えた ☐ はい ☐ いいえ

令和 3 年度 6 月 30 日までに歯科検診を行えた ☐ はい ☐ いいえ

令和 4 年度 6 月 30 日までに歯科検診を行えた ☐ はい ☐ いいえ

質問 2 学校歯科検診の際に新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）と比較して気づいた点がありますか？（複数回答）

☐ 口腔清掃状態の悪化 ☐ う蝕の増加 ☐ 未処置歯の増加 ☐ 歯肉炎の増加・増悪
☐ 口呼吸増加 ☐ その他（ ）

質問 3 かかりつけ医としての診療科目をお知らせください（複数回答可）

☐ 一般歯科

☐ 小児歯科

☐ 矯正歯科

☐ その他

質問 4

新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）の患者数

は減りましたか？（ひとつ選択）

- ☐ 約 50%以上減少
- ☐ 約 30%程度減少
- ☐ 約 10%程度減少
- ☐ ほぼ変わらない
- ☐ 増えた
- ☐ わからない

質問 5

コロナ前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）の定期健診患者数は減りましたか？

- ☐ 減った
- ☐ ほぼ変わらない
- ☐ 増えた
- ☐ わからない

質問 6

コロナ前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）のう蝕は増えましたか？

- ☐ 重症う蝕（歯髄処置・抜歯対象）が増えた
- ☐ 中等度う蝕（修復処置）が増えた
- ☐ 初期う蝕が増えた
- ☐ コロナ前と変わらない
- ☐ 減った
- ☐ わからない

質問 7

コロナ前（2020 年前）と比較し、治療予定だった児童の未受診は増えましたか？

- ☐ 治療予定があったが来院しないものがいた
- ☐ 治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後 1 年未満で受診があった
- ☐ 治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後 1 年以上してから来院があった
- ☐ いつもとかわりなかった
- ☐ いつもより、未受診の患者は少なくなった
- ☐ わからない

質問 8

新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）の虐待を疑うような歯の外傷・口腔粘膜外傷の患者数は減りましたか？（ひとつ選択）

- ☐減った
- ☐ほぼ変わらない
- ☐増えた
- ☐わからない

質問 9

歯の外傷・口腔粘膜外傷について、新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）との比較でお答えください。（ひとつ選択）

- ☐学校生活時の外傷が増えた
- ☐登下校時を含む学校生活時以外の外傷が増えた
- ☐家庭での外傷が増えた
- ☐変わらない
- ☐外傷の子はいなかった
- ☐わからない

質問 1 0

2020 年、2021 年、2022 年の間に、複数回外傷で受診した患児はいましたか？（ひとつ選択）

- ☐いなかった
- ☐2 回外傷で受診した
- ☐3～5 回外傷で受診した
- ☐それ以上の回数の外傷で受診した
- ☐わからない

質問 1 1

診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？

- ☐悪くなった
- ☐変わらない
- ☐良くなった
- ☐わからない

質問 1 2

日常診療と健診の場で虐待を疑うような症例を発見したことはありますか？（複数回答）

- ☐体がかかなり小さい
- ☐髪や服装が不潔な感じがする
- ☐目を背けるなど態度が不自然

☐その他（ ）

☐そのような症例はない ☐わからない

質問 1 3

虐待を疑う症例を発見した先生にお聞きします。

新型コロナウイルス流行後、虐待を疑う事例が増えたように感じますか？

☐はい

☐いいえ

質問 1 4

コロナ禍での児童について歯科医師として注意すべきこと、気が付いたことがありましたらご記入ください。（自由記載）

(別添3)

中学校歯科医の方へのアンケート

コロナ禍における児童生徒の調査研究

2020 年、世界において新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大し、本邦においても 2020 年 4 月に全国に緊急事態宣言が発出されました。学校でも、これまでの学校生活ができない時期もあり、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わっています。

多くの学校生活の活動を制限され、ストレスがかかる生活の中で、子どもたちの口腔内にはどのような変化が起きているのでしょうか？子どもたちの口腔の現状を把握し、今後の子どもたちへの支援・指導を検討したいと思います。

子どもたちの口腔内をよく把握されている学校歯科医の先生たちにご協力をお願いいたします。小学校と中学校の両方の学校を担当されている先生は、アンケート内容は同じですが、それぞれでお答えください。

子どもたちの明るい未来のために、ぜひアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

質問1 学校歯科医として下記にお答えください。

令和2年度 6月30日までに歯科検診を行えた ☐はい ☐いいえ

令和3年度 6月30日までに歯科検診を行えた ☐はい ☐いいえ

令和4年度 6月30日までに歯科検診を行えた ☐はい ☐いいえ

質問2 学校歯科検診の際に新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）と比較して気づいた点がありますか？（複数回答）

☐口腔清掃状態の悪化 ☐う蝕の増加 ☐未処置歯の増加 ☐歯肉炎の増加・増悪
☐口呼吸増加 ☐その他（ ）

質問3 かかりつけ医としての診療科目をお知らせください（複数回答可）

☐一般歯科

☐小児歯科

☐矯正歯科

☐その他

質問4

新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）の患者数

は減りましたか？（ひとつ選択）

- ☐約 50%以上減少
- ☐約 30%程度減少
- ☐約 10%程度減少
- ☐ほぼ変わらない
- ☐増えた
- ☐わからない

質問 5

コロナ前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）の定期健診患者数は減りましたか？

- ☐減った
- ☐ほぼ変わらない
- ☐増えた
- ☐わからない

質問 6

コロナ前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）のう蝕は増えましたか？

- ☐重症う蝕（歯髄処置・抜歯対象）が増えた
- ☐中等度う蝕（修復処置）が増えた
- ☐初期う蝕が増えた
- ☐コロナ前と変わらない
- ☐減った
- ☐わからない

質問 7

コロナ前（2020 年前）と比較し、治療予定だった児童の未受診は増えましたか？

- ☐治療予定があったが来院しないものがいた
- ☐治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後 1 年未満で受診があった
- ☐治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後 1 年以上してから来院があった
- ☐いつもとかわりなかった
- ☐いつもより、未受診の患者は少なくなった
- ☐わからない

質問 8

新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）と比較し、小児患者（16 歳以下）の虐待を疑うような歯の外傷・口腔粘膜外傷の患者数は減りましたか？（ひとつ選択）

- ☐減った
- ☐ほぼ変わらない
- ☐増えた
- ☐わからない

質問 9

歯の外傷・口腔粘膜外傷について、新型コロナウイルス感染症流行前（2020 年前）との比較でお答えください。（ひとつ選択）

- ☐学校生活時の外傷が増えた
- ☐登下校時を含む学校生活時以外の外傷が増えた
- ☐家庭での外傷が増えた
- ☐変わらない
- ☐外傷の子はいなかった
- ☐わからない

質問 1 0

2020 年、2021 年、2022 年の間に、複数回外傷で受診した患児はいましたか？（ひとつ選択）

- ☐いなかった
- ☐2 回外傷で受診した
- ☐3～5 回外傷で受診した
- ☐それ以上の回数の外傷で受診した
- ☐わからない

質問 1 1

診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？

- ☐悪くなった
- ☐変わらない
- ☐良くなった
- ☐わからない

質問 1 2

日常診療と健診の場で虐待を疑うような症例を発見したことはありますか？（複数回答）

- ☐体がかかなり小さい
- ☐髪や服装が不潔な感じがする
- ☐目を背けるなど態度が不自然

☐その他（ ）

☐そのような症例はない ☐わからない

質問 1 3

虐待を疑う症例を発見した先生にお聞きします。

新型コロナウイルス流行後、虐待を疑う事例が増えたように感じますか？

☐はい

☐いいえ

質問 1 4

コロナ禍での児童について歯科医師として注意すべきこと、気が付いたことがありましたらご記入ください。（自由記載）

(別添4)

令和2年度 6月30日までに歯科検診を行えた		A地域	B地域	その他
質問1	いいえ	90.7	72.6	83.9
	はい	9.3	27.4	16.1
	合計	100	100	100
	令和3年度 6月30日までに歯科検診を行えた			
質問1		A地域	B地域	その他
	いいえ	5.8	8.3	14.8
	はい	94.6	92.3	87.1
	合計	100	100	100
質問1	令和4年度 6月30日までに歯科検診を行えた			
		A地域	B地域	その他
	いいえ	3.6	0.4	3.3
	はい	96.5	99.6	96.8
質問2	合計	100	100	100
	回答者の方の職種で当てはまるものはどれですか？(複数回答可)			
		A地域	B地域	その他
	校長	0.4	0.4	0.0
質問2	副校長	0.0	0.0	0.0
	教頭	0.8	6.7	3.3
	学級担任	0.0	0.0	0.0
	指導主事	0.0	0.0	0.0
	養護教諭	97.6	92.9	93.3
	養護助教諭	0.8	0.0	3.3
	学校歯科医	0.4	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0
	合計	100	100	100
質問3	新型コロナ感染症流行下において歯科治療に関して、受診が怖いなどの相談をうけましたか？			
		A地域	B地域	その他
	受けた	13.6	13.7	9.7
	受けていない	77.0	72.2	80.6
	自身は受けていないが、教諭などで受けたと聞いたことがある	5.4	8.5	6.5
	分からない	3.9	5.6	3.2
質問4	合計	100	100	100
	学校での歯みがきについて			
		A地域	B地域	その他
	コロナ禍でも中止することなく、以前と同様の方法で実施している	3.1	4.0	6.5
	コロナ禍でも中止することはなかったが、以前と異なる方法で実施している	17.5	6.5	41.9
	コロナ禍で中止していたが、現在は以前と異なる方法で再開している	30.4	4.0	12.9
質問5	コロナ禍で中止していたが、現在は以前と同様の方法で再開している	5.4	2.4	0.0
	以前から実施していない	3.1	48.0	9.7
	以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	40.5	35.1	29.0
	合計	100	100	100
	フッ化物先口の実施について			
		A地域	B地域	その他
質問5	コロナ禍で1年未満中止していたが、現在は再開している	17.1	20.2	22.6
	コロナ禍で1年以上中止していたが、現在は再開している	3.5	34.3	3.2
	コロナ禍でも中止することなく、継続して実施している	7.8	21.8	6.5
	以前から実施していない	51.0	8.9	48.4
	以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	20.6	14.9	19.4
	合計	100	100	100
質問6	歯の外傷・口腔粘膜外傷について 新型コロナ感染拡大以前との比較でお答えください。			
		A地域	B地域	その他
	学校生活時の外傷が増えた	1.2	8.1	6.5
	登下校を含む学校生活時以外の場所での外傷が増えた	0.8	0.8	0.0
	家庭での外傷が増えた	0.0	0.0	0.0
	歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	9.3	1.6	0.0
	歯の外傷・口腔粘膜外傷の子は減った	3.1	3.6	9.7
	変わらない	65.4	66.1	74.2
	わからない	20.2	19.8	9.7
質問6	合計	100	100	100

小学校アンケート結果(構成割合)

新型コロナ感染症流行下において、口腔内環境に変化を感じますか？		A地域	B地域	その他
質問7	悪くなった	47.1	31.9	29.0
	変わらない	30.4	47.6	51.6
	良くなった	1.9	1.6	0.0
	わからない	20.6	19.0	19.4
	合計	100	100	100

(別添5)

令和2年度 6月30日までに歯科検診を行えた		A地域	B地域	その他
質問1	いいえ	92.3	77.7	72.2
	はい	7.7	22.3	27.8
	合計	100.0	100.0	100.0
	令和3年度 6月30日までに歯科検診を行えた			
質問1		A地域	B地域	その他
	いいえ	19.5	13.1	28.6
	はい	83.7	88.4	77.8
	合計	100.0	100.0	100.0
質問1	令和4年度 6月30日までに歯科検診を行えた			
		A地域	B地域	その他
	いいえ	4.0	0.0	0.0
	はい	96.2	100.0	100.0
	合計	100.0	100.0	100.0
回答者の方の職種で当てはまるものはどれですか？(複数回答可)		A地域	B地域	その他
質問2	校長	0.0	2.6	14.3
	副校長	0.0	0.0	0.0
	教頭	1.0	13.8	0.0
	学級担任	1.0	0.0	0.0
	指導主事	1.9	0.0	0.0
	養護教諭	96.2	81.0	85.7
	養護助教諭	0.0	0.0	0.0
	学校歯科医	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	2.6	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0
新型コロナ感染症流行下において歯科治療に関して、受診が怖いなどの相談をうけましたか？		A地域	B地域	その他
質問3	受けた	24.0	15.2	16.7
	受けていない	70.2	74.1	83.3
	自身は受けていないが、教諭などで受けたと聞いたことがある	1.0	3.6	0.0
	分からない	4.8	7.1	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0
学校での歯みがきについて		A地域	B地域	その他
質問4	コロナ禍でも中止することなく、以前と同様の方法で実施している	3.8	0.9	16.7
	コロナ禍でも中止することはなかったが、以前と異なる方法で実施している	38.5	0.9	22.2
	コロナ禍で中止していたが、現在は以前と異なる方法で再開している	17.3	2.7	16.7
	コロナ禍で中止していたが、現在は以前と同様の方法で再開している	4.8	2.7	0.0
	以前から実施していない	19.2	81.3	44.4
	以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	16.3	11.6	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0
フッ化物先口の実施について		A地域	B地域	その他
質問5	コロナ禍で1年未満中止していたが、現在は再開している	6.7	0.9	5.6
	コロナ禍で1年以上中止していたが、現在は再開している	2.9	0.0	0.0
	コロナ禍でも中止することなく、継続して実施している	4.8	0.0	5.6
	以前から実施していない	78.8	93.8	83.3
	以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	6.7	5.4	5.6
	合計	100.0	100.0	100.0
歯の外傷・口腔粘膜外傷について 新型コロナ感染拡大以前との比較でお答えください。		A地域	B地域	その他
質問6	学校生活時の外傷が増えた	0.0	2.7	0.0
	登下校を含む学校生活時以外の場所での外傷が増えた	0.0	0.0	0.0
	家庭での外傷が増えた	0.0	0.0	0.0
	歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	12.5	4.5	5.6
	歯の外傷・口腔粘膜外傷の子は減った	2.9	1.8	5.6
	変わらない	65.4	74.1	72.2
	わからない	19.2	17.0	16.7
	合計	100.0	100.0	100.0

中学校アンケート結果(構成割合)

新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化を感じますか？		A地域	B地域	その他
質問7	悪くなった	36.5	33.9	22.2
	変わらない	38.5	42.0	50.0
	良くなった	1.0	0.0	0.0
	わからない	24.0	24.1	27.8
	合計	100.0	100.0	100.0

(別添6)

令和2年度 6月30日までに歯科検診を行えた		A地域	B地域	その他
質問1	いいえ	63.8	52.4	81.5
	はい	36.2	47.6	18.5
	合計	100	100	100
	令和3年度 6月30日までに歯科検診を行えた			
質問1	いいえ	11.3	16.2	22.2
	はい	88.7	83.8	77.8
	合計	100	100	100
	令和4年度 6月30日までに歯科検診を行えた			
質問1	いいえ	5.0	0.0	3.7
	はい	95.0	100.0	96.3
	合計	100	100	100
	学校歯科検診の際に新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較して気づいた点はありますか？(複数回答)			
質問2	口腔清掃状態の悪化	32.9	32.1	33.3
	う蝕の増加	11.1	9.9	10.0
	未処置歯の増加	13.2	13.7	3.3
	歯肉炎の増加・増悪	29.1	33.6	40.0
	口呼吸増加	13.2	9.9	13.3
	歯石の増加	0.4	0.0	0.0
	歯科健診後の未受診	0.0	0.8	0.0
	合計	100	100	100
かかりつけ医としての診療科目をお知らせください(複数回答可)		A地域	B地域	その他
質問3	一般歯科	46.0	50.5	43.3
	小児歯科	35.9	34.2	31.7
	矯正歯科	14.1	13.3	21.7
	口腔外科	4.0	2.0	3.3
	合計	100	100	100
新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の患者数は減りましたか？		A地域	B地域	その他
質問4	ほぼ変わらない	51.8	48.6	51.9
	約10%程度減少	18.4	18.1	22.2
	約30%程度減少	14.2	13.3	11.1
	約50%以上減少	6.4	5.7	3.7
	増えた	4.3	1.9	0.0
	わからない	5.0	12.4	11.1
	合計	100	100	100
コロナ前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の定期健診患者数は減りましたか？		A地域	B地域	その他
質問5	減った	38.3	34.6	37.0
	ほぼ変わらない	58.2	55.8	48.1
	増えた	1.4	0.0	0.0
	わからない	2.1	9.6	14.8
	合計	100	100	100
コロナ前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)のう蝕は増えましたか？		A地域	B地域	その他
質問6	減った	1.4	1.0	7.4
	コロナ前と変わらない	53.2	51.9	44.4
	初期う蝕が増えた	22.0	16.3	25.9
	中等度う蝕(修復処置)が増えた	9.9	8.7	7.4
	重症う蝕(歯髄処置・抜歯対象)が増えた	2.1	3.8	0.0
	わからない	11.3	18.3	14.8
	合計	100	100	100
コロナ前(2020年前)と比較し、治療予定だった児童の未受診は増えましたか？		A地域	B地域	その他
質問7	いつもとかわりなかった	51.8	57.7	44.4
	治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後1年未満で受診があった	14.9	5.8	22.2
	治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後1年以上してから来院が	5.7	5.8	3.7
	治療予定があったが来院しないものがいた	20.6	16.3	14.8
	いつもより、未受診の患者は少なくなった	0.7	2.9	0.0
	わからない	6.4	11.5	14.8
	合計	100	100	100

新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の虐待を疑うような歯の外傷・口腔粘膜外傷の患者数は減りましたか？

	A地域	B地域	その他
質問8 減った	2.1	1.9	4.0
ほぼ変わらない	29.1	29.5	36.0
増えた	0.7	0.0	0.0
わからない	68.1	68.6	60.0
合計	100	100	100

歯の外傷・口腔粘膜外傷について、新型コロナ感染症流行前(2020年前)との比較でお答えください。

	A地域	B地域	その他
質問9 わからない	23.4	18.1	14.8
学校生活時の外傷が増えた	0.7	1.0	0.0
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	14.9	11.4	7.4
家庭での外傷が増えた	1.4	1.9	7.4
登下校時を含む学校生活時以外の外傷が増えた	0.7	2.9	7.4
変わらない	58.9	64.8	63.0
合計	100	100	100

2020年、2021年、2022年の間に、複数回外傷で受診した患児はいましたか？

	A地域	B地域	その他
質問10 いなかった	83.7	81.9	77.8
2回外傷で受診した	8.5	13.3	14.8
3～5回外傷で受診した	3.5	0.0	0.0
それ以上の回数の外傷で受診した	0.7	0.0	7.4
わからない	3.5	4.8	0.0
合計	100	100	100

診療および歯科健診で新型コロナ感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？

	A地域	B地域	その他
質問11 悪くなった	44.7	38.1	40.7
変わらない	41.8	51.4	40.7
良くなった	0.0	1.0	0.0
わからない	13.5	9.5	18.5
合計	100	100	100

日常診療と健診の場で虐待を疑うような症例を発見したことはありますか？(複数回答)

	A地域	B地域	その他
質問12 体がかなり小さい	1.4	0.0	0.0
そのような症例はない	65.7	70.6	69.6
髪や服装が不潔な感じがする	11.9	8.8	8.7
目を背けるなど態度が不自然	2.8	2.0	0.0
カリエスを治療していない	1.4	0.0	0.0
わからない	16.8	18.6	21.7
合計	100	100	100

虐待を疑う症例を発見した先生にお聞きます。
新型コロナウイルス流行後、虐待を疑う事例が増えたように感じますか？

	A地域	B地域	その他
質問13 いいえ	96	100	100
はい	4	0	0
合計	100	100	100

(別添7)

令和2年度 6月30日までに歯科検診を行えた

	A地域	B地域	その他
いいえ	53.8	50.0	70.6
はい	46.2	50.0	29.4
合計	100	100	100

令和3年度 6月30日までに歯科検診を行えた

質問1	A地域	B地域	その他
いいえ	6.2	25.9	17.6
はい	93.8	74.1	82.4
合計	100	100	100

令和4年度 6月30日までに歯科検診を行えた

	A地域	B地域	その他
いいえ	0.0	3.4	0.0
はい	100.0	96.6	100.0
合計	100	100	100

学校歯科検診の際に新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較して気づいた点がありますか？(複数回答)

質問2	A地域	B地域	その他
口腔清掃状態の悪化	36.6	24.2	47.6
う蝕の増加	8.6	15.2	4.8
未処置歯の増加	11.8	13.6	0.0
歯肉炎の増加・増悪	29.0	36.4	38.1
口呼吸増加	14.0	9.1	9.5
歯石の増加	0.0	1.5	0.0
歯科健診後の未受診	0.0	0.0	0.0

かかりつけ医としての診療科目をお知らせください(複数回答可)

質問3	A地域	B地域	その他
一般歯科	48.9	50.4	81.0
小児歯科	35.1	34.8	66.7
矯正歯科	11.5	11.3	19.0
口腔外科	4.6	3.5	4.8

新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の患者数は減りましたか？

質問4	A地域	B地域	その他
ほぼ変わらない	49.2	57.9	58.8
約10%程度減少	13.8	12.3	29.4
約30%程度減少	18.5	12.3	5.9
約50%以上減少	9.2	5.3	5.9
増えた	0.0	3.5	0.0
わからない	9.2	8.8	0.0
合計	100	100	100

コロナ前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の定期健診患者数は減りましたか？

質問5	A地域	B地域	その他
減った	38.5	36.8	29.4
ほぼ変わらない	46.2	47.4	64.7
増えた	0.0	0.0	0.0
わからない	15.4	15.8	5.9
合計	100	100	100

コロナ前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)のう蝕は増えましたか？

質問6	A地域	B地域	その他
減った	1.5	0.0	0.0
コロナ前と変わらない	50.8	52.6	52.9
初期う蝕が増えた	27.7	21.1	17.6
中等度う蝕(修復処置)が増えた	1.5	7.0	5.9
重症う蝕(歯髄処置・抜歯対象)が増えた	4.6	1.8	0.0
わからない	13.8	17.5	23.5
合計	100	100	100

コロナ前(2020年前)と比較し、治療予定だった児童の未受診は増えましたか？

質問7	A地域	B地域	その他
いつもとかわりなかった	38.5	49.1	29.4
治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後1年未満で受診があった	18.5	1.8	11.8
治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後1年以上してから来院が	1.5	1.8	5.9
治療予定があったが来院しないものがいた	24.6	26.3	23.5
いつもより、未受診の患者は少なくなった	0.0	5.3	0.0
わからない	16.9	15.8	29.4
合計	100	100	100

新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の虐待を疑うような歯の外傷・口腔粘膜外傷の患者数は減りましたか？

A地域 B地域 その他

中学校学校歯科医アンケート(構成割合)

質問8	減った	1.5	0.0	0.0
	ほぼ変わらない	36.9	27.6	23.5
	増えた	0.0	5.2	0.0
	わからない	61.5	67.2	76.5
	合計	100	100	100
質問9	歯の外傷・口腔粘膜外傷について、新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)との比較でお答えください。			
		A地域	B地域	その他
	わからない	23.1	24.1	17.6
	学校生活時の外傷が増えた	0.0	0.0	0.0
	歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	12.3	19.0	11.8
	家庭での外傷が増えた	3.1	5.2	0.0
	登下校時を含む学校生活時以外の外傷が増えた	0.0	0.0	0.0
	わからない	61.5	51.7	70.6
質問10	合計	100	100	100
	2020年、2021年、2022年の間に、複数回外傷で受診した患児はいましたか？			
		A地域	B地域	その他
	いなかった	90.8	84.2	94.1
	2回外傷で受診した	4.6	7.0	0.0
	3～5回外傷で受診した	1.5	0.0	0.0
	それ以上の回数の外傷で受診した	0.0	0.0	0.0
	わからない	3.1	8.8	5.9
質問11	合計	100	100	100
	診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？			
		A地域	B地域	その他
	悪くなった	44.6	39.7	52.9
	変わらない	52.3	43.1	29.4
	良くなった	0.0	1.7	0.0
	わからない	3.1	15.5	17.6
	合計	100	100	100
質問12	日常診療と健診の場で虐待を疑うような症例を発見したことはありますか？(複数回答)			
		A地域	B地域	その他
	体がかなり小さい	0.0	0.0	0.0
	そのような症例はない	71.6	67.2	64.7
	髪や服装が不潔な感じがする	6.0	5.2	0.0
	目を背けるなど態度が不自然	3.0	1.7	5.9
	カリエスを治療していない	3.0	1.7	5.9
	わからない	16.4	24.1	23.5
質問13	合計	100	100	100
	虐待を疑う症例を発見した先生にお聞きします。 新型コロナウイルス流行後、虐待を疑う事例が増えたように感じますか？			
		A地域	B地域	その他
	いいえ	95.2	77.3	100
	はい	4.8	22.7	0.0
	合計	100	100	100

小学校におけるフッ化物洗口との関係

質問5 × 質問7		新型コロナ感染症流行下において、口腔内環境に変化を感じますか？			p Value
エリア	フッ化物洗口	悪くなった	変わらない	わからない	
A地域	現在していない	87	53	42	0.364
	現在している	34	25	11	
B地域	現在していない	29	21	8	0.005
	現在している	50	97	39	
その他	現在していない	8	11	2	0.078
	現在している	1	5	4	

質問4 × 質問5		フッ化物洗口		p Value
エリア	学校での歯磨き	現在していない	現在している	
A地域	現在していない	101	10	< 0.001
	現在している	81	60	
B地域	現在していない	50	154	0.349
	現在している	8	32	
その他	現在していない	10	2	0.24
	現在している	11	8	

中学校におけるフッ化物洗口との関係

質問5 × 質問7		新型コロナ感染症流行下において、口腔内環境に変化を感じますか？			p Value
エリア	フッ化物洗口	悪くなった	変わらない	わからない	
A地域	現在していない	32	34	23	0.641
	現在している	6	6	2	
B地域	現在していない	38	46	27	0.498
	現在している	0	1	0	
その他	現在していない	4	8	4	0.638
	現在している	0	1	1	

質問4 × 質問5		フッ化物洗口		p Value
エリア	学校での歯磨き	現在していない	現在している	
A地域	現在していない	36	1	0.016
	現在している	53	13	
B地域	現在していない	104	0	0.071
	現在している	7	1	
その他	現在していない	8	0	0.477
	現在している	8	2	

小学校における歯磨きとの関係

質問4		質問7			p Value
エリア	学校での歯磨き	新型コロナウイルス感染症流行下において、 口腔内環境に変化を感じますか？			
		悪くなった	変わらない	わからない	
A地域	現在していない	57	27	27	0.117
	現在している	64	51	26	
B地域	現在していない	71	95	38	0.187
	現在している	8	23	9	
その他	現在していない	4	7	1	0.467
	現在している	5	9	5	

中学校における歯磨きとの関係

質問4		質問7			p Value
エリア	学校での歯磨き	新型コロナウイルス感染症流行下において、			
		悪くなった	変わらない	わからない	
A地域	現在していない	32	34	23	0.619
	現在している	6	6	2	
B地域	現在していない	38	46	27	0.379
	現在している	0	1	0	
その他	現在していない	4	8	4	0.61
	現在している	0	1	1	

小学校と中学校の比較

	小学校	中学校	p Value
A地域	257	104	0.485
B地域市	248	112	
その他	31	18	

質問1 令和2年度 6月30日までに歯科検診を行えた

	小学校	中学校	p Value
総合	439	196	0.304
いいえ	97	38	
はい	536	234	

	小学校	中学校	p Value
A地域	233	96	0.688
いいえ	24	8	
はい	257	104	

	小学校	中学校	p Value
B地域	180	87	0.363
いいえ	68	25	
はい	248	112	

	小学校	中学校	p Value
その他	26	13	0.465
いいえ	5	5	
はい	31	18	

令和3年度 6月30日までに歯科検診を行えた

	小学校	中学校	p Value
総合	37	34	0.001
いいえ	499	200	
はい	536	234	

	小学校	中学校	p Value
A地域	14	17	0.002
いいえ	243	87	
はい	257	104	

	小学校	中学校	p Value
B地域	19	13	0.234
いいえ	229	99	
はい	248	112	

	小学校	中学校	p Value
その他	4	4	0.443
いいえ	27	14	
はい	31	18	

令和4年度 6月30日までに歯科検診を行えた

	小学校	中学校	p Value
総合	11	4	1
いいえ	525	230	
はい	536	234	

	小学校	中学校	p Value
A地域	9	4	1
いいえ	248	100	
はい	257	104	

	小学校	中学校	p Value
B地域			

いいえ	1	0	
はい	247	112	1
合計	248	112	

その他	小学校	中学校	p Value
いいえ	1	0	
はい	30	18	1
合計	31	18	

質問2 回答者の方の職種で当てはまるものはどれですか？(複数回答可)

総合	小学校	中学校	p Value
校長	8	4	
副校長	0	0	
教頭	35	17	
学級担任	0	1	
指導主事	2	2	0.059
養護教諭	503	200	
養護助教諭	3	0	
学校歯科医	1	0	
その他	0	3	

A地域	小学校	中学校	p Value
校長	4	0	
副校長	0	0	
教頭	4	1	
学級担任	0	1	
指導主事	0	2	0.635
養護教諭	251	100	
養護助教諭	2	0	
学校歯科医	1	0	
その他	0	0	

B地域	小学校	中学校	p Value
校長	3	3	
副校長	0	0	
教頭	30	16	
学級担任	0	0	
指導主事	0	0	0.045
養護教諭	223	94	
養護助教諭	0	0	
学校歯科医	0	0	
その他	0	3	

その他	小学校	中学校	p Value
校長	1	1	
副校長	0	0	
教頭	1	0	
学級担任	0	0	
指導主事	0	0	0.553
養護教諭	29	6	
養護助教諭	1	0	
学校歯科医	0	0	
その他	0	0	

質問3 新型コロナウイルス感染症流行下において歯科治療に関して、受診が怖いなどの相談を受けましたか？

総合	小学校	中学校	p Value
受けた	72	45	
受けていない	402	171	0.013
自身は受けていないが、教諭などで受けたと聞いたことがある	37	5	
分からない	25	13	

合計	536	234	
A地域	小学校	中学校	p Value
受けた	10	5	
受けていない	14	1	
自身は受けていないが、教諭などで受けたと聞いたことがある	35	25	0.029
分からない	198	73	
合計	257	104	

B地域	小学校	中学校	p Value
受けた	14	8	
受けていない	21	4	
自身は受けていないが、教諭などで受けたと聞いたことがある	34	17	0.376
分からない	179	83	
合計	248	112	

その他	小学校	中学校	p Value
受けた	1	0	
受けていない	2	0	
自身は受けていないが、教諭などで受けたと聞いたことがある	3	3	0.531
分からない	25	15	
合計	31	18	

質問4	学校での歯みがきについて			
総合	小学校	中学校	p Value	
コロナ禍でも中止することなく、以前と同様の方法で実施している	20	8		
コロナ禍でも中止することはなかったが、以前と異なる方法で実施して	74	45		
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と異なる方法で再開している	92	24		
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と同様の方法で再開している	20	8		< 0.001
以前から実施していない	130	119		
以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	200	30		
合計	536	234		

A地域	小学校	中学校	p Value
コロナ禍でも中止することなく、以前と同様の方法で実施している	8	4	
コロナ禍でも中止することはなかったが、以前と異なる方法で実施して	45	40	
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と異なる方法で再開している	78	18	
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と同様の方法で再開している	14	5	< 0.001
以前から実施していない	8	20	
以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	104	17	
合計	257	104	

B地域	小学校	中学校	p Value
コロナ禍でも中止することなく、以前と同様の方法で実施している	10	1	
コロナ禍でも中止することはなかったが、以前と異なる方法で実施して	16	1	
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と異なる方法で再開している	10	3	
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と同様の方法で再開している	6	3	< 0.001
以前から実施していない	119	91	
以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	87	13	
合計	248	112	

その他	小学校	中学校	p Value
コロナ禍でも中止することなく、以前と同様の方法で実施している	2	3	
コロナ禍でも中止することはなかったが、以前と異なる方法で実施して	13	4	
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と異なる方法で再開している	4	3	
コロナ禍で中止していたが、現在は以前と同様の方法で再開している	0	0	0.008
以前から実施していない	3	8	
以前は実施していたが、コロナ禍で中止し、現在も中止している	9	0	
合計	31	18	

質問6	歯の外傷・口腔粘膜外傷について	新型コロナ感染拡大以前との比較でお答えください。		
総合	小学校	中学校	p Value	

学校生活時の外傷が増えた	25	3	0.067
登下校を含む学校生活時以外の場所での外傷が増えた	4	0	
家庭での外傷が増えた	0	0	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	28	19	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子は減った	20	6	
変わらない	355	168	
わからない	104	42	
合計	536	257	

A地域	小学校	中学校	p Value
学校生活時の外傷が増えた	3	0	0.732
登下校を含む学校生活時以外の場所での外傷が増えた	2	0	
家庭での外傷が増えた	0	0	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	24	13	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子は減った	8	3	
変わらない	168	68	
わからない	52	20	
合計	257	104	

B地域	小学校	中学校	p Value
学校生活時の外傷が増えた	20	3	0.117
登下校を含む学校生活時以外の場所での外傷が増えた	2	0	
家庭での外傷が増えた	0	0	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	4	5	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子は減った	9	2	
変わらない	164	83	
わからない	49	19	
合計	248	112	

その他	小学校	中学校	p Value
学校生活時の外傷が増えた	2	0	0.466
登下校を含む学校生活時以外の場所での外傷が増えた	0	0	
家庭での外傷が増えた	0	0	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった	2	0	
歯の外傷・口腔粘膜外傷の子は減った	0	1	
変わらない	23	13	
わからない	3	3	
合計	30	17	

質問7 新型コロナ感染症流行下において、口腔内環境に変化を感じますか？

総合	小学校	中学校	p Value
悪くなった	209	80	0.197
変わらない	212	96	
良くなった	9	1	
わからない	106	57	
合計	536	257	

A地域	小学校	中学校	p Value
悪くなった	121	38	0.242
変わらない	78	40	
良くなった	5	1	
わからない	53	25	
合計	257	104	

B地域	小学校	中学校	p Value
悪くなった	79	38	0.329
変わらない	118	47	
良くなった	4	0	
わからない	47	27	
合計	248	112	

その他	小学校	中学校	p Value
-----	-----	-----	---------

悪くなった	9	4	0.754
変わらない	16	9	
良くなった	6	5	
わからない	31	18	
合計	62	36	

学校歯科医間の比較

	小学校学校歯科医	中学校学校歯科医	p Value
A地域	141	65	0.562
B地域	105	58	
その他	27	17	

質問1 6月30日までに歯科検診を行えた
令和2年度 6月30日までに歯科検診を行えた

	いいえ	はい	p Value
小学校学校歯科医	90	51	0.219
中学校学校歯科医	35	30	
小学校学校歯科医	55	50	0.87
中学校学校歯科医	29	29	
小学校学校歯科医	22	5	0.473
中学校学校歯科医	12	5	
小学校学校歯科医	167	106	0.205
中学校学校歯科医	76	64	

質問1 6月30日までに歯科検診を行えた

令和3年度 6月30日までに歯科検診を行えた

		いいえ	はい	p Value
A地域	小学校学校歯科医	16	125	0.315
	中学校学校歯科医	4	61	
B地域	小学校学校歯科医	17	88	0.153
	中学校学校歯科医	15	43	
その他	小学校学校歯科医	6	21	1
	中学校学校歯科医	3	14	
合計	小学校学校歯科医	39	234	0.77
	中学校学校歯科医	22	118	

質問1 6月30日までに歯科検診を行えた

令和4年度 6月30日までに歯科検診を行えた

		いいえ	はい	p Value
A地域	小学校学校歯科医	7	134	0.1
	中学校学校歯科医	0	65	
B地域	小学校学校歯科医	0	105	0.125
	中学校学校歯科医	2	56	
その他	小学校学校歯科医	1	26	1
	中学校学校歯科医	0	17	
合計	小学校学校歯科医	8	265	0.506
	中学校学校歯科医	2	138	

質問2 学校歯科検診の際に新型コロナウイルス感染症流行前（2020年前）と比較して気づいた点はありますか？（複数回答）

		口腔清掃状態の悪化		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	64	77	0.766
	中学校学校歯科医	31	34	
B地域	小学校学校歯科医	63	42	0.127

その他	中学校学校歯科医	42	16	0.127
	小学校学校歯科医	17	10	0.218
	中学校学校歯科医	7	10	
合計	小学校学校歯科医	144	129	0.406
	中学校学校歯科医	80	60	

		う蝕の増加		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	115	26	0.271
	中学校学校歯科医	57	8	
B地域	小学校学校歯科医	92	13	0.393
	中学校学校歯科医	48	10	
その他	小学校学校歯科医	24	3	0.557
	中学校学校歯科医	16	1	
合計	小学校学校歯科医	231	42	0.623
	中学校学校歯科医	121	19	

		未処置歯の増加		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	110	31	0.46
	中学校学校歯科医	54	11	
B地域	小学校学校歯科医	87	18	0.83
	中学校学校歯科医	49	9	
その他	小学校学校歯科医	26	1	1
	中学校学校歯科医	17	0	
合計	小学校学校歯科医	223	50	0.334
	中学校学校歯科医	120	20	

		歯肉炎の増加・増悪		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	73	68	0.766
	中学校学校歯科医	38	27	
B地域	小学校学校歯科医	61	44	0.127
	中学校学校歯科医	34	24	
その他	小学校学校歯科医	15	12	0.218
	中学校学校歯科医	9	8	
合計	小学校学校歯科医	149	124	0.406
	中学校学校歯科医	81	59	

		口呼吸の増加		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	110	31	0.766
	中学校学校歯科医	52	13	
B地域	小学校学校歯科医	92	13	0.127
	中学校学校歯科医	52	6	
その他	小学校学校歯科医	23	4	0.218
	中学校学校歯科医	15	2	
合計	小学校学校歯科医	225	48	0.406
	中学校学校歯科医	119	21	

		歯石の増加・増悪		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	140	1	1
	中学校学校歯科医	65	0	
B地域	小学校学校歯科医	105	0	0.356
	中学校学校歯科医	57	1	
その他	小学校学校歯科医	27	0	—
	中学校学校歯科医	17	0	
合計	小学校学校歯科医	272	1	1
	中学校学校歯科医			

中学校学校歯科医		139	1	1
歯科健診後の未受診の増加				
		なし	あり	p Value
A地域	小学校学校歯科医	141	0	—
	中学校学校歯科医	65	0	
B地域	小学校学校歯科医	104	1	1
	中学校学校歯科医	58	0	
その他	小学校学校歯科医	27	0	—
	中学校学校歯科医	17	0	
合計	小学校学校歯科医	272	1	1
	中学校学校歯科医	140	0	

質問3 かかりつけ医としての診療科目をお知らせください(複数回答可)

		一般歯科		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	4	137	1
	中学校学校歯科医	1	64	
B地域	小学校学校歯科医	6	99	0.09
	中学校学校歯科医	0	58	
その他	小学校学校歯科医	1	26	1
	中学校学校歯科医	0	17	
合計	小学校学校歯科医	11	262	0.067
	中学校学校歯科医	1	139	

		小児歯科		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	34	106	0.597
	中学校学校歯科医	19	46	
B地域	小学校学校歯科医	38	67	0.606
	中学校学校歯科医	18	40	
その他	小学校学校歯科医	8	19	0.486
	中学校学校歯科医	3	14	
合計	小学校学校歯科医	80	192	0.761
	中学校学校歯科医	40	100	

		矯正歯科		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	99	42	0.402
	中学校学校歯科医	50	15	
B地域	小学校学校歯科医	79	26	0.849
	中学校学校歯科医	45	13	
その他	小学校学校歯科医	14	13	0.124
	中学校学校歯科医	13	4	
合計	小学校学校歯科医	192	81	0.162
	中学校学校歯科医	108	32	

		歯科口腔外科		p Value
		なし	あり	
A地域	小学校学校歯科医	129	12	1
	中学校学校歯科医	59	6	
B地域	小学校学校歯科医	101	4	0.457
	中学校学校歯科医	54	4	
その他	小学校学校歯科医	25	2	1
	中学校学校歯科医	16	1	
合計	小学校学校歯科医	255	18	0.685

質問4 新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の患者数は減りましたか？

		患者数		
		ほぼ変わらない	約10%程度減少	約30%程度減少
A地域	小学校学校歯科医	73	26	20
	中学校学校歯科医	32	9	12
B地域	小学校学校歯科医	51	19	14
	中学校学校歯科医	33	7	7
その他	小学校学校歯科医	14	6	3
	中学校学校歯科医	10	5	1
合計	小学校学校歯科医	138	51	37
	中学校学校歯科医	75	21	20

質問5 コロナ前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の定期健診患者数は減りましたか？

		小児患者(16歳以下)の定期検診変化		
		減った	ほぼ変わらない	増えた
A地域	小学校学校歯科医	54	82	2
	中学校学校歯科医	25	30	0
B地域	小学校学校歯科医	36	58	0
	中学校学校歯科医	21	27	0
その他	小学校学校歯科医	10	13	0
	中学校学校歯科医	5	11	0
合計	小学校学校歯科医	100	153	2
	中学校学校歯科医	51	68	0

質問6 コロナ前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)のう蝕は増えましたか？

		小児患者(16歳以下)のう蝕は増えた？		
		減った	コロナ前と変わらない	初期う蝕が増えた
A地域	小学校学校歯科医	2	75	31
	中学校学校歯科医	1	33	18
B地域	小学校学校歯科医	1	54	17
	中学校学校歯科医	0	30	12
その他	小学校学校歯科医	2	12	7
	中学校学校歯科医	0	9	3
合計	小学校学校歯科医	5	141	55
	中学校学校歯科医	1	72	33

質問7 コロナ前(2020年前)と比較し、治療予定だった児童の未受診は増えましたか？

治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後1年未満で受診があった

治療予定があり、治療をキャンセルしたが、その後1年以上してから来院があった

いつもとかわりなかった

A地域	小学校学校歯科医	73	21	8
	中学校学校歯科医	25	12	1
B地域	小学校学校歯科医	60	6	6
	中学校学校歯科医	28	1	1
その他	小学校学校歯科医	12	6	1
	中学校学校歯科医	5	2	1
合計	小学校学校歯科医	145	33	15
	中学校学校歯科医	58	15	3

質問8 新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の虐待を疑うような歯の外傷・口腔粘膜外傷の患者数は減りましたか？

		減った	ほぼ変わらない	増えた
A地域	小学校学校歯科医	3	41	1
	中学校学校歯科医	1	24	0
B地域	小学校学校歯科医	2	31	0
	中学校学校歯科医	0	16	3
その他	小学校学校歯科医	1	9	0
	中学校学校歯科医	0	4	0
合計	小学校学校歯科医	6	81	1
	中学校学校歯科医	1	44	3

質問9 歯の外傷・口腔粘膜外傷について、新型コロナ感染症流行前(2020年前)との比較でお答えください。

		わからない	学校生活時の外傷が増えた	歯の外傷・口腔粘膜外傷の子はいなかった
A地域	小学校学校歯科医	33	1	21
	中学校学校歯科医	15	0	8
B地域	小学校学校歯科医	19	1	12
	中学校学校歯科医	14	0	11
その他	小学校学校歯科医	4	0	2
	中学校学校歯科医	3	0	2
合計	小学校学校歯科医	56	2	35
	中学校学校歯科医	32	0	21

質問10 2020年、2021年、2022年の間に、複数回外傷で受診した患児はいましたか？

		いなかった	2回外傷で 受診した	3～5回外 傷で受診 した
A地域	小学校学校歯科医	118	12	5
	中学校学校歯科医	59	3	1
B地域	小学校学校歯科医	86	14	0
	中学校学校歯科医	48	4	0
その他	小学校学校歯科医	21	4	0
	中学校学校歯科医	16	0	0
合計	小学校学校歯科医	225	30	5
	中学校学校歯科医	123	7	1

質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？

		悪くなった	変わらない	良くなった
A地域	小学校学校歯科医	63	59	0
	中学校学校歯科医	29	34	0
B地域	小学校学校歯科医	40	54	1
	中学校学校歯科医	23	25	1
その他	小学校学校歯科医	11	11	0
	中学校学校歯科医	9	5	0
合計	小学校学校歯科医	114	124	1
	中学校学校歯科医	61	64	1

質問12 日常診療と健診の場で虐待を疑うような症例を発見したことはありますか？（複数回答）

		そのような 症例はな い	髪や服装 が不潔な 感じがす る	目を背け るなど態 度が不自 然
A地域	小学校学校歯科医	94	17	4
	中学校学校歯科医	48	4	2
B地域	小学校学校歯科医	72	9	2
	中学校学校歯科医	39	3	1
その他	小学校学校歯科医	16	2	0
	中学校学校歯科医	11	0	1
合計	小学校学校歯科医	182	28	6
	中学校学校歯科医	98	7	4

質問13 虐待を疑う症例を発見した先生にお聞きします。
イルス流行後、虐待を疑う事例が増えたように感じますか？

		虐待を疑う事例が増えたと感じる？		p Value
		いいえ	はい	
A地域	小学校学校歯科医	48	2	1
	中学校学校歯科医	20	1	
B地域	小学校学校歯科医	31	0	0.009
	中学校学校歯科医	17	5	
その他	小学校学校歯科医	11	0	—
	中学校学校歯科医	6	0	
合計	小学校学校歯科医	90	2	0.021
	中学校学校歯科医	43	6	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問13 新型コロナウイルス流行後、虐待を疑う事例が増えたように感じますか？		p Value
			はい	いいえ	
小学校	A地域	悪くなった	2	22	0.491
		変わらない	0	21	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	13	-
		変わらない	0	15	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	4	-
		変わらない	0	5	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	2	39	0.35
		変わらない	0	41	
		良くなった	0	1	
中学校	A地域	悪くなった	1	10	1
		変わらない	0	10	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	2	4	0.604
		変わらない	2	8	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	0	4	-
		変わらない	0	1	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	3	18	1
		変わらない	2	19	
		良くなった	0	0	

*: < 0.05 , **: <0.01

Fisher's exact test

質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

学校 区分	エリア	質問13 新型コロナウイルス 流行後、虐待 を疑う事例が増 えたように感 じますか？	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？			p Value
			悪くなった	変わらない	良くなった	
小学校	A地域	はい	30	11	2	0.491
		いいえ	85	65	3	
	B地域	はい	29	19	0	-
		いいえ	48	95	4	
	その他	はい	3	2	0	-
		いいえ	6	13	0	
中学校	合計	はい	62	32	2	0.35
		いいえ	139	173	7	
	A地域	はい	12	9	0	1
		いいえ	25	30	1	
	B地域	はい	9	9	0	0.604
		いいえ	26	37	0	
	その他	はい	2	0	0	-
		いいえ	2	9	0	
	合計	はい	23	18	0	1
		いいえ	53	76	1	

*: < 0.05 , **: <0.01 Fisher's exact test
質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問2 コロナ前と比較した口腔清掃状態の悪化		p Value
			あり	なし	
小学校	**A地域	悪くなった	48	12	< 0.001
		変わらない	19	34	
		良くなった	0	0	
	**B地域	悪くなった	21	13	0.001
		変わらない	12	35	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	5	4	0.37
		変わらない	3	7	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	74	29	< 0.001
		変わらない	34	76	
		良くなった	0	0	
中学校	**A地域	悪くなった	19	6	0.001
		変わらない	9	22	
		良くなった	0	0	
	**B地域	悪くなった	11	9	0.001
		変わらない	1	19	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	5	1	0.19
		変わらない	1	3	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	35	16	< 0.001
		変わらない	11	44	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問2 コロナ前と比較したう蝕の増加		p Value
			あり	なし	
小学校	**A地域	悪くなった	21	39	< 0.001
		変わらない	3	50	
		良くなった	0	0	
	**B地域	悪くなった	9	25	0.007
		変わらない	2	45	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	3	6	0.087
		変わらない	0	10	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	33	70	< 0.001
		変わらない	5	105	
		良くなった	0	0	
中学校	A地域	悪くなった	5	20	0.223
		変わらない	2	29	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	7	13	0.05
		変わらない	1	19	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	1	5	1
		変わらない	0	4	
		良くなった	0	0	
	*合計	悪くなった	13	38	0.014
		変わらない	3	52	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問2 コロナ前と比較した未処置歯の増加		p Value
			あり	なし	
小学校	**A地域	悪くなった	23	37	< 0.001
		変わらない	4	49	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	8	26	0.39
		変わらない	7	40	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	1	8	0.474
		変わらない	0	10	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	32	71	< 0.001
		変わらない	11	99	
		良くなった	0	0	
中学校	A地域	悪くなった	7	18	0.092
		変わらない	3	28	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	5	15	0.05
		変わらない	0	20	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	6	-
		変わらない	0	4	
		良くなった	0	0	
	*合計	悪くなった	12	39	0.026
		変わらない	3	52	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問2 コロナ前と比較した歯肉炎の増加・増悪		p Value
			あり	なし	
小学校	**A地域	悪くなった	45	15	< 0.001
		変わらない	13	40	
		良くなった	0	0	
	*B地域	悪くなった	20	14	0.023
		変わらない	15	32	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	4	5	1
		変わらない	5	5	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	69	34	< 0.001
		変わらない	33	77	
		良くなった	0	0	
中学校	**A地域	悪くなった	17	8	< 0.001
		変わらない	6	25	
		良くなった	0	0	
	**B地域	悪くなった	15	5	0.004
		変わらない	5	15	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	4	2	1
		変わらない	3	1	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	36	15	< 0.001
		変わらない	14	41	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化が	質問2 コロナ前と比較した口呼吸の増加	p Value
-------	-----	--	---------------------	---------

		みられますか？	あり	なし	
小学校	A地域	悪くなった	17	43	0.183
		変わらない	9	44	
		良くなった	0	0	
	**B地域	悪くなった	8	26	0.003
		変わらない	1	46	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	2	7	0.582
		変わらない	1	9	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	27	76	0.002
		変わらない	11	99	
		良くなった	0	0	
中学校	**A地域	悪くなった	11	14	< 0.001
		変わらない	1	30	
		良くなった	0	0	
	*B地域	悪くなった	3	17	0.046
		変わらない	2	18	
		良くなった	1	0	
	その他	悪くなった	1	5	1
		変わらない	1	3	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	15	36	0.001
		変わらない	4	51	
		良くなった	1	0	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化が	質問2 コロナ前と比較した歯石の増加		p Value
			あり	なし	
小学校	A地域	悪くなった	0	60	0.469
		変わらない	1	52	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	34	-
		変わらない	0	47	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	0	9	-
		変わらない	0	10	
		良くなった	0	19	
	合計	悪くなった	0	103	1
		変わらない	1	109	
		良くなった	0	0	
中学校	A地域	悪くなった	0	25	-
		変わらない	0	31	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	20	0.584
		変わらない	1	19	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	6	-
		変わらない	0	4	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	0	51	0.621
		変わらない	1	54	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問2 コロナ前と比較した健診後未受診の増加		p Value
			あり	なし	
	A地域	悪くなった	0	60	-
		変わらない	0	53	
		良くなった	0	0	

小学校	B地域	悪くなった	1	33	0.43
		変わらない	0	47	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	0	9	-
		変わらない	0	10	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	1	102	0.484
		変わらない	0	110	
		良くなった	0	0	
中学校	A地域	悪くなった	0	25	-
		変わらない	0	31	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	20	-
		変わらない	0	20	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	6	-
		変わらない	0	4	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	0	51	-
		変わらない	0	55	
		良くなった	0	1	

*: < 0.05 , **: < 0.01

Fisher's exact test

質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

学校区分	エリア	【質問7】 新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化を感じますか？	【質問3】 新型コロナウイルス感染症流行下において歯科治療に関して、受診が怖いなどの相談をうけましたか？		p Value
			相談を受けた	相談を受けていない	
小学校	A地域	悪くなった	30	85	0.101
		変わらない	11	65	
		良くなった	2	3	
	B地域	悪くなった	29	48	0.002
		変わらない	19	95	
		良くなった	0	4	
	その他	悪くなった	3	6	0.326
		変わらない	2	13	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	62	139	0.001
		変わらない	32	173	
		良くなった	2	7	
中学校	A地域	悪くなった	12	25	0.544
		変わらない	9	30	
		良くなった	0	1	
	B地域	悪くなった	9	26	0.593
		変わらない	9	37	
		良くなった	0	0	
	その他	悪くなった	2	2	0.077
		変わらない	0	9	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	23	53	0.205
		変わらない	18	76	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問4 新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の患者数は減りましたか？			p Value
			減少	変わらない	増えた	
小学校	A地域	悪くなった	30	28	3	0.37
		変わらない	21	33	2	
		良くなった	0	0	0	
	B地域	悪くなった	15	20	1	0.923
		変わらない	22	27	1	
		良くなった	0	1	0	
	その他	悪くなった	4	6	0	0.656
		変わらない	6	4	0	
		良くなった	0	0	0	
	合計	悪くなった	49	54	4	0.824
		変わらない	49	64	3	
		良くなった	0	1	0	
中学校	**A地域	悪くなった	18	9	0	0.008
		変わらない	9	22	0	
		良くなった	0	0	0	
	B地域	悪くなった	8	12	1	0.42
		変わらない	7	17	0	
		良くなった	0	0	0	
	その他	悪くなった	5	4	0	0.301
		変わらない	1	4	0	
		良くなった	0	0	0	
	**合計	悪くなった	31	25	1	0.008
		変わらない	17	43	0	
		良くなった	0	0	0	

*: < 0.05, **: <0.01

Fisher's exact test

質問4において「約10%程度減少」、「約30%程度減少」、「約50%以上減少」の回答をまとめて「減少」とカテゴライズした。

質問4、質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

学校歯科医	エリア	質問11診療および歯科健診 で新型コロナウイルス感染症流行下 において、口腔内環境に変 化がみられますか？	質問5 コロナ前(2020年前)と比較し、 小児患者(16歳以下)の定期健診患者 数は減りましたか？			p Value
			減少	変わらない	増えた	
小学校	A地域	悪くなった	28	33	0	0.223
		変わらない	19	38	1	
		良くなった	0	0	0	
	B地域	悪くなった	18	19	0	0.251
		変わらない	17	34	0	
		良くなった	0	1	0	
	その他	悪くなった	5	5	0	0.67
		変わらない	4	7	0	
		良くなった	0	0	0	
	合計	悪くなった	51	57	0	0.202
		変わらない	40	79	1	
		良くなった	0	1	0	
中学校	*A地域	悪くなった	17	10	0	0.028
		変わらない	8	19	0	
		良くなった	0	0	0	
	B地域	悪くなった	11	7	0	0.067
		変わらない	6	16	0	
		良くなった	0	1	0	
	その他	悪くなった	5	4	0	0.086
		変わらない	0	5	0	
		良くなった	0	0	0	
	**合計	悪くなった	33	21	0	0.001
		変わらない	14	40	0	
		良くなった	0	1	0	

*: < 0.05, **: < 0.01

Fisher's exact test

質問5、質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問6 コロナ前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)のう蝕は増えましたか？			p Value
			減少	変わらない	増えた	
小学校	**A地域	悪くなった	1	15	44	< 0.001
		変わらない	0	49	4	
		良くなった	0	0	0	
	**B地域	悪くなった	0	11	23	< 0.001
		変わらない	1	41	5	
		良くなった	0	0	0	
	その他	悪くなった	0	5	4	0.65
		変わらない	0	7	3	
		良くなった	0	0	0	
	**合計	悪くなった	1	31	71	< 0.001
		変わらない	1	97	12	
		良くなった	0	0	0	
中学校	**A地域	悪くなった	0	8	17	< 0.001
		変わらない	1	25	5	
		良くなった	0	0	0	
	**B地域	悪くなった	0	8	12	0.003
		変わらない	0	18	2	
		良くなった	0	1	0	
	その他	悪くなった	0	3	3	0.429
		変わらない	0	3	1	
		良くなった	0	0	0	
	**合計	悪くなった	0	19	32	< 0.001
		変わらない	1	46	8	
		良くなった	0	1	0	

*: < 0.05, **: < 0.01

Fisher's exact test

質問6の回答のうち「初期う蝕が増えた」、「中等度う蝕(修復処置)が増えた」、「重症う蝕(歯髄処置・抜歯対象)が増えた」を「増えた」にカテゴライズした。

質問6、質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

学校歯科医	エリア	質問11診療および歯科 健診で新型コロナ感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問8 新型コロナウイルス感染症流行前(2020年前)と比較し、小児患者(16歳以下)の虐待を疑うような歯の外傷・口腔粘膜外傷の患者数は減りましたか？			<i>p Value</i>
			減少	変わらない	増えた	
小学校	A地域	悪くなった	3	16	1	0.12
		変わらない	0	19	0	
		良くなった	0	0	0	
	B地域	悪くなった	1	10	0	0.859
		変わらない	1	20	0	
		良くなった	0	1	0	
	その他	悪くなった	0	5	0	-
		変わらない	0	4	0	
		良くなった	0	0	0	
	合計	悪くなった	4	31	1	0.391
		変わらない	1	43	0	
		良くなった	0	1	0	
中学校	A地域	悪くなった	1	14	0	1
		変わらない	0	10	0	
		良くなった	0	0	0	
	*B地域	悪くなった	0	3	3	0.021
		変わらない	0	13	0	
		良くなった	0	0	0	
	その他	悪くなった	0	3	0	-
		変わらない	0	1	0	
		良くなった	0	0	0	
	合計	悪くなった	1	20	3	0.113
		変わらない	0	24	0	
		良くなった	0	0	0	

*: < 0.05, **: <0.01

Fisher's exact test

質問8、質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問12 髪や服装が不潔な感じがする		p Value
			あり	なし	
小学校	A地域	悪くなった	10	53	0.426
		変わらない	6	53	
		良くなった	0	0	
	**B地域	悪くなった	4	36	0.007
		変わらない	4	50	
		良くなった	1	0	
	その他	悪くなった	2	9	0.476
		変わらない	0	11	
		良くなった	0	0	
	**合計	悪くなった	16	98	0.007
		変わらない	10	114	
		良くなった	1	0	
中学校	*A地域	悪くなった	4	25	0.04
		変わらない	0	34	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	2	21	0.308
		変わらない	0	25	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	9	-
		変わらない	0	5	
		良くなった	0	0	
	*合計	悪くなった	6	55	0.035
		変わらない	0	64	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問12 目を背けるなど態度が不自然		p Value
			あり	なし	
小学校	A地域	悪くなった	4	59	0.12
		変わらない	0	59	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	40	0.46
		変わらない	2	52	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	11	-
		変わらない	0	11	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	4	110	0.638
		変わらない	2	122	
		良くなった	0	1	
中学校	A地域	悪くなった	2	27	0.208
		変わらない	0	34	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	1	22	0.562
		変わらない	0	25	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	1	8	1
		変わらない	0	5	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	4	57	0.111
		変わらない	0	64	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問12 体がかなり小さい		p Value
			あり	なし	
小学校	A地域	悪くなった	1	62	1
		変わらない	1	58	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	40	-
		変わらない	0	54	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	11	-
		変わらない	0	11	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	1	113	0.994
		変わらない	1	123	
		良くなった	0	1	
中学校	A地域	悪くなった	0	29	-
		変わらない	0	34	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	23	-
		変わらない	0	25	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	9	-
		変わらない	0	5	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	0	61	-
		変わらない	0	64	
		良くなった	0	1	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化がみられますか？	質問12 口腔内がカリエスで崩壊している		p Value
			あり	なし	
小学校	A地域	悪くなった	62	1	1
		変わらない	59	0	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	40	0	-
		変わらない	54	0	
		良くなった	1	0	
	その他	悪くなった	11	0	-
		変わらない	11	0	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	113	1	0.577
		変わらない	124	0	
		良くなった	1	0	
中学校	A地域	悪くなった	29	0	-
		変わらない	34	0	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	23	0	-
		変わらない	25	0	
		良くなった	1	0	
	その他	悪くなった	9	0	-
		変わらない	5	0	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	61	0	-
		変わらない	64	0	
		良くなった	1	0	

学校歯科医	エリア	質問11 診療および歯科健診で新型コロナウイルス感染症流行下において、口腔内環境に変化が	質問12 カリエスを治療していない	p Value
-------	-----	--	-------------------	---------

		みられますか？	あり	なし	
小学校	A地域	悪くなった	1	62	1
		変わらない	0	59	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	40	-
		変わらない	0	54	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	11	-
		変わらない	0	11	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	1	113	0.577
		変わらない	0	124	
		良くなった	0	1	
中学校	A地域	悪くなった	1	28	1
		変わらない	1	33	
		良くなった	0	0	
	B地域	悪くなった	0	23	0.613
		変わらない	1	24	
		良くなった	0	1	
	その他	悪くなった	0	9	-
		変わらない	0	5	
		良くなった	0	0	
	合計	悪くなった	1	60	0.852
		変わらない	2	62	
		良くなった	0	1	

*: < 0.05 , **: <0.01

Fisher's exact test

質問11において「わからない」の回答は解析に含めず。

小・中学校および学校歯科医に対するアンケートにおける
自由記載欄で多かった記載内容の例

1. 小学校に対するアンケート

(A地域)

- ・ 運動不足、体力の低下、肥満傾向がみられる児童が多くなった。
- ・ 児童がゲームや動画視聴をする時間が長くなった。
- ・ マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えた。
- ・ マスクの常時着用で歯や口の状態が分かりにくくなった。
- ・ 歯垢の付着や歯肉炎を指摘される児童が増えた。
- ・ マスクを外すことに抵抗がある児童が増えた。
- ・ 学校での歯磨きをしないため、丁寧な歯磨きができていない児童が増えた。
- ・ 視力の低下が見られる児童が増えた。

(B地域)

- ・ 運動不足、視力の低下、肥満傾向がみられる児童が多くなった。
- ・ マスクの常時着用で歯や口の状態が分かりにくくなった。
- ・ マスクを外すことに抵抗がある児童が増えた。
- ・ 歯垢の付着、う歯、歯肉炎を指摘される児童が増えた。

(その他)

- ・ 運動不足、肥満傾向がみられる児童が多くなった。
- ・ マスクの常時着用で歯や口の状態が分かりにくくなった。
- ・ 児童がゲームをする時間が長くなった。

2. 中学校に対するアンケート

(A地域)

- ・ マスクを外すことに抵抗がある生徒が増えた。
- ・ 運動不足、体力の低下、視力の低下、肥満傾向がみられる生徒が多くなった。
- ・ マスクの常時着用で口呼吸の生徒が増えた。
- ・ 歯垢の付着や歯肉炎がある生徒が増えた。
- ・ 不登校の生徒が増えた。
- ・ ゲームをする時間が長くなった生徒が目立つ。

(B地域)

- ・ マスクを外すことに抵抗がある生徒が増えた。
- ・ マスクの常時着用で口呼吸の生徒が増えた。

- ・ 歯垢の付着、歯石の沈着、歯肉炎がある生徒が増えた。
- ・ ゲームをする時間が長くなった生徒が目立つ。

(その他)

- ・ 不登校の生徒が増えた。
- ・ 体重増加者が増えた。

3. 小学校の学校歯科医に対するアンケート

(A地域)

- ・ マスクを外すことに抵抗がある児童が増えた。
- ・ マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えた。
- ・ 学校でのブラッシングがなくなったことを危惧している。
- ・ 歯垢の付着がある児童が増えた。

(B地域)

- ・ マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えた。
- ・ 検診時の感染予防に気を付けた。

(その他)

- ・ マスクの常時着用で口呼吸の児童が増えた。
- ・ 虐待が増加している様子はない。

4. 中学校の学校歯科医の対するアンケート

(A地域)

- ・ 口呼吸の防止について助言した。

(B地域)

- ・ マスクの常時着用で口呼吸の生徒が増えた。
- ・ 歯肉炎がある生徒が増えた。

(その他)

- ・ 口腔清掃が悪化している生徒が増えた。

以上